DAIHATSU

01999-B1280

F7

9インチスマホ連携ディスプレイオーディオ

取扱説明書

よくお読みになって使用してください。
取扱説明書はお車の中に保管しましょう。

DAIHATSU

このたびは、
9インチスマホ連携ディスプレイオーディオ
をお買い上げいただき、ありがとうございます。

９インチスマホ連携ディスプレイオーディオをお使いいただく前に、本書をよくお読みになり、正しくお使いください。

本書について

- お車をゆずられる際は、次のオーナーのために必ず本書をお車に付けておいてください。
  - 車の仕様変更により、本書の内容と9インチスマホ連携ディスプレイオーディオが一部異なる場合がございますがご了承ください。
  - ご不明な点は、ご購入先のダイハツサービス工場（営業スタッフ）におたずねください。

1	**本機の操作**	● 各機能を使用する前に知っておきたいこと ● Bluetooth® 機器を本機に接続する
2	**オーディオ & ビジュアル**	● ラジオを聞く ● 音楽や映像を楽しむ
3	**ハンズフリー**	● 携帯電話をハンズフリーで使用する
4	**音声認識機能**	● オーディオなどを音声で操作する
5	**周辺監視**	● 車両周囲の状況を確認する
6	**スマートフォン連携**	● Apple CarPlay ／ Android Auto ™を使用する
7	**ドライブレコーダー**	● ドライブレコーダーで録画した映像を再生する
8	**ご参考**	● 本機の仕様情報など

	さくいん	**アルファベット**で検索
		五十音で検索

知っておいていただきたいこと …… 4
本書の見方 …… 5
検索のしかた …… 6

1 本機の操作

1-1. 基本操作
画面と操作ボタン …… 8
ホーム画面 …… 11
ステータスアイコンについて …… 13
画面を操作する …… 16

1-2. 機器の接続
ケーブルを使って接続する … 18
Bluetooth® 機器を登録／接続する …… 19

1-3. 各種設定
システム設定 …… 24
画面の表示設定 …… 29
オーディオの設定 …… 30
通信設定 …… 31

2 オーディオ & ビジュアル

2-1. ラジオを聞く
AM ／ FM ラジオを操作する……34

2-2. メディアの再生／視聴
テレビを操作する ……36
USB メモリーを操作する……42
iPod を操作する ……45
Bluetooth オーディオを操作する……47
HDMI を操作する ……49

2-3. ステアリングスイッチの操作
ステアリングスイッチで操作する……50

3 ハンズフリー

3-1. お使いになる前に
ハンズフリーを使う ……52

3-2. 基本操作
ステアリングスイッチで操作する……53
電話をかける ……54
電話を受ける ……57

3-3. ハンズフリーの便利な使い方
通話中の操作 ……58

3-4. こんなときは
知っておいていただきたいこと……59

4 音声認識機能

4-1. 音声認識機能

音声認識の操作 …… 62
音声認識コマンドリスト …… 65

5 周辺監視

5-1. バックカメラ

バックカメラ …… 70
カメラの設定 …… 77
知っておいていただきたいこと …… 79

5-2. パノラマモニター

パノラマモニター …… 81
カメラの設定 …… 94
知っておいていただきたいこと …… 95

6 スマートフォン連携

6-1. Apple CarPlay ／ Android Auto

Apple CarPlay ／ Android Auto について … 98
Apple CarPlay ／ Android Auto の操作 … 100
モバイル音声認識の操作 … 102
知っておいていただきたいこと …… 103

7 ドライブレコーダー

7-1. ドライブレコーダー

ドライブレコーダー …… 106
ドライブレコーダー画面を操作する …… 107
ドライブレコーダーの設定 …… 109

8 ご参考

8-1. 参考情報

使用できるメディア／データについて …… 112
商標、著作権について …… 119

さくいん

アルファベット順さくいん …… 124
五十音順さくいん …… 125

知っておいていただきたいこと

本書の内容について

●本書は、ディスプレイオーディオの取り扱いを説明しています。車両本体の取扱説明書と併せてお読みください。

●ダイハツサービス工場で取り付けられた装備（販売店装着オプション）の取り扱いについては、その商品に付属の取扱説明書をお読みください。

●ご不明な点は、担当営業スタッフにおたずねください。

●本書の内容は、仕様変更やソフトウェアの更新などによりお車と一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。

●本書の画面と実際の画面は、装備や契約の有無などによって異なります。

●操作状況によっては、画面の切り替えに時間がかかったり、黒画やちらつきが生じることがあります。

●1 章の「本機の操作」には、各機能共通の操作内容、およびはじめに設定しておくと便利なことがまとめられています。本機を初めてお使いになる際は、この章からお読みになることをおすすめします。

データの補償に関する免責事項について

本機は各種データを内蔵メモリーに保存します。本機の故障・修理、誤作動、または不具合などにより、メモリーに保存されたデータなどが変化・消失することがあります。

お客様がメモリーに保存されたデータについて、正常に保存できなかった場合や損失した場合のデータの補償、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

バッテリー<補機バッテリー>の取り外しについて

本機はエンジンスイッチ<パワースイッチ>を “OFF” にするごとに、各種データを本機に保存しています。各種データの保存が終わる前にバッテリー<補機バッテリー>端子を外すと、データが正常に保存できないことがあります。詳しくは、ダイハツサービス工場にお問い合わせください。

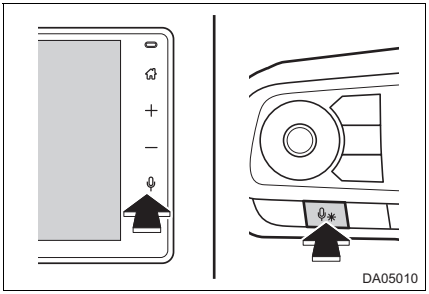
本書の見方

警告 お守りいただかないと、お客様ご自身と周囲の人々が死亡、または重大な傷害につながるおそれがあることを説明しています。

注意 お守りいただかないと、お車や装備品の故障や破損につながるおそれがあることを説明しています。

1 2 3… 操作・作業の手順を示しています。番号の順に従ってください。

➡: 押す・回すなど、していただきたい操作を示しています。



知識 機能や操作方法の説明以外で知っておいていただきたい、知っておくと便利なことを説明しています。

ガソリン車／ハイブリッド車の表現の違いについて

ハイブリッド車特有の語句はガソリン車特有の語句の後ろに書かれています。

例：エンジンスイッチ※1 ＜パワースイッチ＞※2 を“ON”にします。

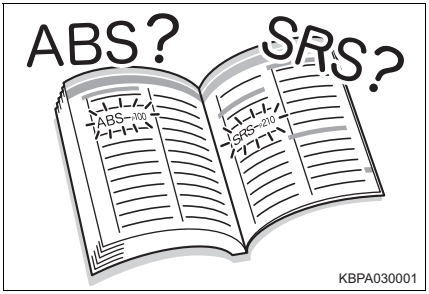
※1 ガソリン車

※2 ハイブリッド車

検索のしかた

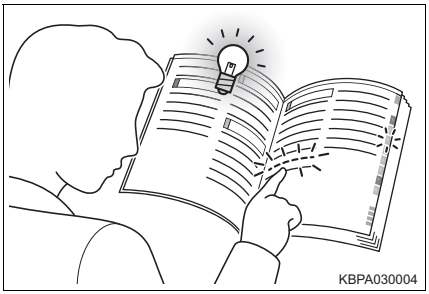
▶名称から探す

- 五十音順さくいん …… 125
- アルファベット順さくいん …… 124



▶タイトルから探す

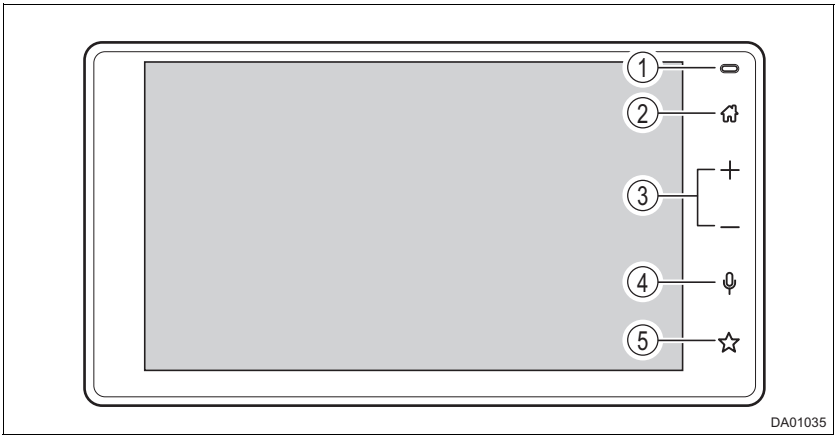
- 目次 …… 2



本機の操作 1

1-1. 基本操作
画面と操作ボタン …… 8
ホーム画面 …… 11
ステータスアイコンについて …… 13
画面を操作する …… 16
1-2. 機器の接続
ケーブルを使って接続する … 18
Bluetooth® 機器を登録／接続する …… 19
1-3. 各種設定
システム設定 …… 24
画面の表示設定 …… 29
オーディオの設定 …… 30
通信設定 …… 31

画面と操作ボタン



① マイク

② ホームボタン
ホーム画面を表示する（→ P. 11）

③ 音量調整ボタン
音量を調整する
約 1 秒以上押し続けると、連続して調整できます。
表示された または を選択すると、音声出力の ON ／ OFF が切り替わります。

④ トークボタン
本機の音声認識機能を起動する（→ P. 62）
長押しすると、Apple CarPlay ／ Android Auto のモバイル音声認識が起動する（→ P. 102）
Apple CarPlay ／ Android Auto が接続されていないとき、長押しすると機器登録／削除画面が表示されます。（→ P. 19）

⑤ ☆ボタン
お気に入りとして割り当てた機能（→ P. 24）を起動する

知識

●駐車支援ガイド※の音声案内中に音量調整ボタンまたはステアリングスイッチの音量調整スイッチを押すと、案内音量を調整できます。

※ 対応システム接続時のみ

●－ 20 ℃以下の低温時には、画面の操作ができなくなります。

●液晶画面は、斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えることがあります。

●太陽の光などの外光が画面に当たると画面が見えにくくなります。

●偏光レンズを使用したサングラスなどを装着すると、画面が暗く見えたり、見えにくくなったりします。

⚠ 警告

●安全のため、運転者は走行中に極力操作をしないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。お車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。

●走行するときは、必ず実際の交通規制に従うとともに、道路状況に即した運転を心がけてください。

⚠ 注意

●画面の汚れは、プラスチックレンズ用メガネふきなどのやわらかく乾いた布で軽くふき取ってください。手で強く押したり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。また、液晶画面はコーティング処理してあります。ベンジンやアルカリ性溶液などが付着すると画面が損傷するおそれがあります。

●バッテリー＜補機バッテリー＞あがりを防ぐため、エンジン＜ハイブリッドシステム＞停止中に長時間使用しないでください。

こんなメッセージが表示されたときは

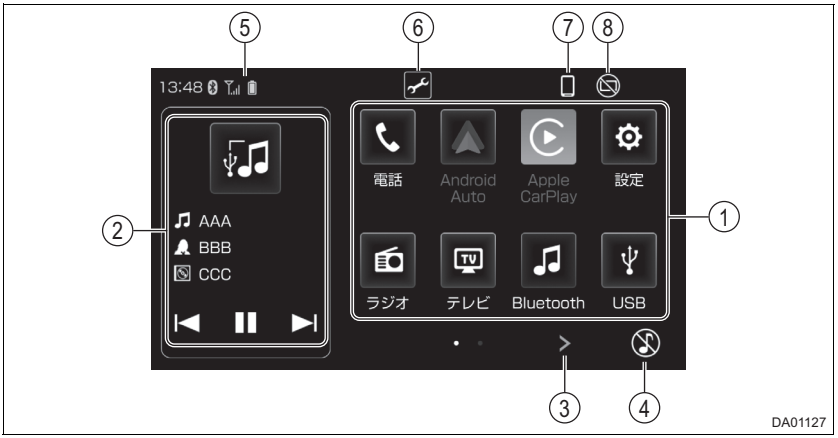
メッセージ	原因	処置
高温を検出したため、システムを停止します。しばらくしてから、エンジンをかけ直してください。	本機の内部温度が標準値を超えたため。	温度が下がるのを待ってから、再度操作をしてください。
スピーカーの配線、または本機に異常を検知しました。スピーカーの配線を確認してください。 配線を確認後、メッセージが表示され続ける場合は販売店にご相談ください。	スピーカーの接続状態または本機に異常があり、保護回路が動作したため。	エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を“OFF”から“ON”にしてもメッセージが消えない場合は、ダイハツサービス工場にご相談ください。
暗証番号が間違っています。暗証番号を忘れた場合は、販売店にご相談ください。	セキュリティ設定画面で設定した暗証番号と異なっているため。	ダイハツサービス工場にご相談ください。

ホーム画面

ホーム画面では、電話やオーディオソースの選択ができます。

ホーム画面の操作

ホームボタンを押す



① オーディオやハンズフリー、設定画面などを表示する

② オーディオ操作画面（→ P. 34）を表示する

③ ページを切り替える

フリック操作でもページを切り替えできます。（→ P. 17）

④ オーディオを OFF する

再度選択すると、再開されます。
オーディオソースを選択しても、オーディオの OFF 状態が解除されます。

⑤ ステータスアイコンの表示（→ P. 13）

⑥ 各種点検およびメンテナンスの案内表示

アイコンは、システム設定画面（→ P. 24）のメンテナンス設定で設定した日付または走行距離に近付くと表示されます。

日付または走行距離を再設定すると、アイコンは消えます。

⑦ 機器登録／削除画面を表示する（→ P. 19）

⑧ 音声は消さずに、画面だけを消す

次のいずれかの操作で、画面を表示できます。

- 画面をタッチする
- ステアリングの MODE スイッチ、電話スイッチまたはトーク／電話スイッチを押す
- 画面外のホームボタンを押す
- Android Auto以外の音声認識を起動する
- カメラ／パーキングアシストスイッチ★を押す

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

ソースを選択する

ホーム画面からソースを選択できます。

ホーム画面（→ P. 11）→ソースを選択

●電話

ハンズフリーを起動します。

●Android Auto

Android Auto を起動します。未接続時は、画面に従って操作してください。

●Apple CarPlay

Apple CarPlay を起動します。

●設定

各種項目を設定します。

●ラジオ

ラジオを受信します。

●テレビ

デジタルテレビを受信します。

●Bluetooth

Bluetooth オーディオを再生します。

●USB ／ iPod

USBメモリーに記録した音楽ファイルなどを再生します。

iPod を再生します。

●HDMI

外部機器を再生します。

●交通情報

交通情報を受信します。

●ドライブレコーダー※

ドライブレコーダー画面を表示します。

※ 対応システム接続時のみ

知識

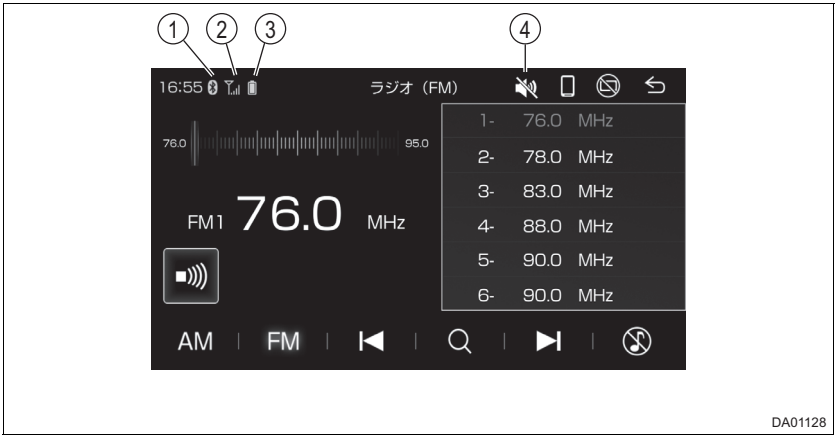
●接続した機器に名称が登録されている場合は、その名称でスイッチが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

●iPhone 側の Apple CarPlay の設定が有効であるとき、iPhone を USB 接続すると iPod を選択することができません。

●スマートフォンの推奨端末、推奨環境については、ダイハツ工業株式会社ホームページ（https://www.daihatsu.co.jp/connect/index.htm）をご確認ください。

ステータスアイコンについて

ステータスアイコンの表示について



① Bluetooth 機器の接続状態の表示（→ P. 14）

② 携帯電話の電波受信レベルの表示（→ P. 15）

③ 携帯電話の電池残量の表示（→ P. 15）

④ 消音時に表示される（→ P. 8、50）

知識

●時計表示の ON ／ OFF ができます。（→ P. 24）

■ Bluetooth 機器の接続状態表示について

Bluetooth 機器の Bluetooth 接続状態を表示します。

表示	接続状態
	Bluetooth 接続中であることを示しています。この状態で Bluetooth 機器を使用してください。点滅中は Bluetooth 接続待機中です。
非表示	Bluetooth 機器が Bluetooth 接続されていない場合や接続状態が悪い場合は、Bluetooth 接続表示が非表示になります。 Bluetooth 機器を移動して使用してください。また、携帯電話が未接続の場合はハンズフリーは使用できませんので、再度、携帯電話の選択をご確認ください。(→ P. 22) 携帯電話の登録がされていない場合は、登録を行ってから使用してください。(→ P. 20)

知識

●Bluetooth 通信用の車両側アンテナが本機内に内蔵されています。Bluetooth 機器を使用するときは、Bluetooth が接続可能な場所に Bluetooth 機器を移動させてください。また、次のような場所や状態で Bluetooth 機器を使用すると、Bluetooth の接続ができないことがあったり、Bluetooth 機器の Bluetooth 接続状態表示が非表示になることがあります。

- Bluetooth 機器が画面から隠れる場所にあるとき（Bluetooth 機器がシートの後ろや下にあるとき、またはグローブボックス内やコンソールボックス内にあるときなど）
- Bluetooth 機器が金属製のものに接したり、覆われているとき

●Bluetooth 機器を省電力モードに設定していると、自動的に Bluetooth 接続が切断されてしまうことがあります。この場合は、Bluetooth機器の省電力モードを解除してください。

■ 携帯電話の電波の受信レベル表示について

電波の受信レベルの目安を表示します。ただし、データ通信中および電話帳データの転送中は表示されないことがあります。

レベル	表示
圏外	
弱	
強	

知識

●ハンズフリーを使用する場合は、次の点に注意してください。

- 受信レベルは携帯電話の表示と一致しないことがあります。
- 機種によっては、受信レベルの表示ができないことがあります。
- Bluetooth接続表示が非表示のときは、携帯電話が本機に接続されていません。ハンズフリーを利用する場合は、Bluetooth接続してからご利用ください。（→ P. 19）

■ 携帯電話の電池残量表示について

携帯電話の電池残量の目安を表示します。ただし、データ通信中および電話帳データの転送中は表示されないことがあります。

残量	表示
無	
少	
多	

画面を操作する

通常のタッチ操作に加え、タッチする指の動きに合わせて、リスト画面などを動かすことができます。

●画面保護のため、タッチスイッチは指で軽くタッチしてください。

●スイッチの反応がないときは、一度画面から手を離してから再度タッチしてください。

●画面に ⮌ が表示されているときに ⮌ を選択すると、一つ前の画面に戻ります。
ホーム画面に戻ることがあります。

知識

●走行中はリスト送りなどの一部機能が制限されます。

●清掃の際、タッチスイッチをふくことで、タッチスイッチが反応することがあります。

●タッチスイッチに手を近付けた状態で、エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を“ACC”または“ON”にすると、タッチスイッチが反応しないことがあります。その場合、タッチスイッチから手を離し、10 秒程度待ってから再度タッチしてください。

●次のときは、タッチスイッチが反応しなかったり、誤作動することがあります。
- 手袋を着用しているとき
- 爪で操作したとき
- 他の指や手のひらが、他のタッチスイッチに近付いたとき
- 汚れや水分が付着しているとき
- タッチスイッチの表面にフィルムなどを貼ったとき
- タッチスイッチの表面を塗装したとき
- 近くにテレビ塔・発電所・ガソリンスタンド・放送局・大型ディスプレイ・空港があるなど、強い電波やノイズの発生する場所にいるとき
- 無線機や携帯電話などの無線通信機器を携帯しているとき

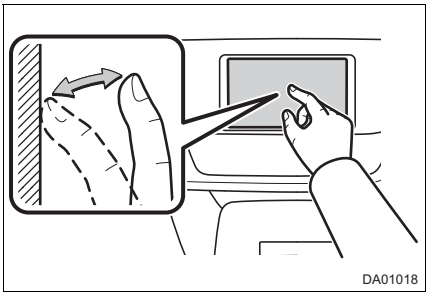
●タッチスイッチが、次のような金属製のものに接していたり、覆われたりしているときは、タッチスイッチが反応しなかったり、誤作動することがあります。
- アルミ箔などの金属の貼られたカード
- アルミ箔を使用したタバコの箱
- 金属製の財布やかばん
- 小銭
- カイロ
- CD や DVD などのメディア

画面の操作方法

画面に直接指でタッチして操作します。

■ タッチ操作（画面のスイッチ選択）

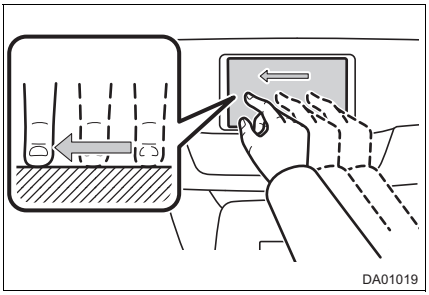
画面を指で軽くタッチする



■ ドラッグ操作（リスト画面のスクロール）

画面にタッチしたまま指をずらす

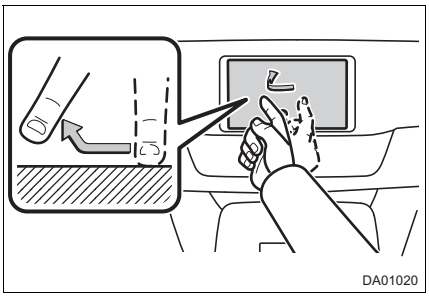
●一部の画面で操作できます。



■ フリック操作（リスト画面のスクロール（ページごと））

画面にタッチした状態で軽く指を払う

●一部の画面で操作できます。



知識

●画面操作は、標高の高い場所ではスムーズに操作できないことがあります。

●タッチスイッチの感度レベルを調整できます。（→ P. 24）

ケーブルを使って接続する

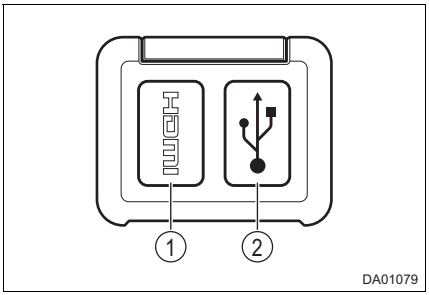
各端子に接続した外部機器を再生することができます。

USB ソケット／ HDMI 端子について

カバーを開け、機器を接続する

① 市販のケーブルを使用して、ポータブル機などを接続する場合に使用

② 本機に USB メモリーや iPod などのUSB機器を接続する場合に使用



知識

●USB ソケット／ HDMI 端子の意匠および位置は、お車によって異なります。車両本体の取扱説明書をご覧ください。

●使用するケーブルによっては、正常に作動しないことがあります。

▶USB 接続

●USB 端子が接続できます。

●スマートフォンの USB 接続については、(→ P. 98) をご覧ください。

●USB ハブは、使用できません。

⚠ 注意

●接続する機器の形状によっては、周辺部品と干渉し、本体または接続機器が破損する可能性がありますのでご注意ください。

●差込口に接続機器以外のものを入れないでください。故障の原因となります。

Bluetooth® 機器を登録／接続する

ハンズフリーや Bluetooth オーディオを使用するためには、Bluetooth 機器を本機に登録し、接続する必要があります。

ここでは、Apple CarPlay 用／ Android Auto 用の Wi-Fi® 接続および切り替えなども説明しています。

機器登録／削除画面について

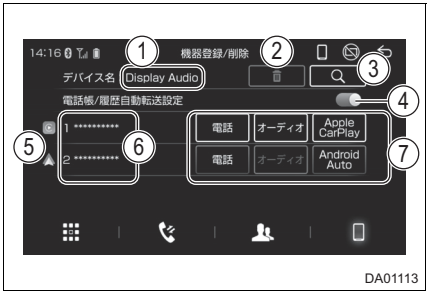
Bluetooth 機器の登録／接続など、本機で使用する Bluetooth 機器の管理は機器登録／削除画面で行います。

次のいずれかの操作をして、機器登録／削除画面を表示する。

▶画面上部の［機器登録／削除（ ）］を選択

▶ホーム画面（→ P. 11）→［設定］→［機器登録／削除（ ）］

▶ホーム画面（→ P. 11）→［設定］→［通信設定（ ）］→［Bluetooth 設定］



① Bluetooth機器に表示される本機の名称

② 選択した機器を削除する

③ 本機周辺のBluetooth機器を検索・表示する（→ P. 20）

④ 接続した機器の電話帳／履歴を本機に自動転送する機能をON／OFFする

機能をONにしても、接続した機器がPBAP（→ P. 117）に対応していない場合、自動転送されません。

⑤ Apple CarPlay ／ Android Auto が接続されているとき、Apple CarPlay ／ Android Auto を起動する（→ P. 100）

⑥ 登録／接続されている機器の一覧

⑦ 機器の接続状態／使用用途表示および切り替え

白枠：接続なし／使用用途設定なし

灰色の枠（電話／オーディオのみ）：接続なし／使用用途設定あり

青枠：接続あり／使用用途設定あり

本機の Wi-Fi® 設定を ON に変更するかのメッセージが表示されたとき、[はい] を選択すると Apple CarPlay ／ Android Auto が使用用途と して選択され Wi-Fi® で接続されます。
iPhone（Apple CarPlay）／ Android デバイス（Android Auto）を USB 接続したときも、Apple CarPlay ／ Android Autoが使用用途として選択表示されます。

Bluetooth 機器を登録する

機器の登録は、Bluetooth 機器側から／本機側からの 2 通りの方法があります。

■ Bluetooth 機器側から検索して登録する

1 機器登録／削除画面（→ P. 19）

2 Bluetooth 機器を操作し、本機の機器登録／削除画面に表示されているデバイス名を探し、選択する

3 本機に表示されているコードと、Bluetooth機器に表示されているコードが一致していることを確認し、本機の［はい］を選択する



DA01088

- Bluetooth 機器に、接続の許可を求めるメッセージが表示されている場合は、許可してください。
- 本機の Wi-Fi® 設定を ON に変更するかのメッセージが表示されたとき、［はい］を選択すると Apple CarPlay／Android Autoが使用用途として選択され Wi-Fi® で接続されます。
- Android Auto を使用するかのメッセージが表示されたとき、［はい］を選択するとAndroid Autoが使用用途として選択され Wi-Fi® で接続されます。

4 機器登録／削除画面に登録した機器が追加されていることを確認する

- 登録が完了すると、新規登録した機器の使用可能な用途で Bluetooth 接続または Apple CarPlay ／ Android Auto が Wi-Fi® 接続されます。新規登録した機器と同じ使用用途で Bluetooth 接続されている機器がある場合、接続されていた機器の接続は切断されます。

■ 本機周辺の Bluetooth 機器を検索して登録する

1 機器登録／削除画面（→ P. 19）→ [Q]

2 登録するデバイスを選択する

- [i] を選択すると、デバイス名と Bluetooth デバイスアドレスが切り替わります。
- [Q] を選択すると、再検索されます。



3 本機に表示されているコードと、Bluetooth機器に表示されているコードが一致していることを確認し、本機の［はい］を選択する

- Bluetooth 機器に、接続の許可を求めるメッセージが表示されている場合は、許可してください。
- 本機の Wi-Fi® 設定を ON に変更するかのメッセージが表示されたとき、［はい］を選択すると Apple CarPlay ／Android Autoが使用用途として選択され Wi-Fi® で接続されます。
- Android Auto を使用するかのメッセージが表示されたとき、［はい］を選択するとAndroid Autoが使用用途として選択され Wi-Fi® で接続されます。



4 機器登録／削除画面に登録した機器が追加されていることを確認する

- 登録が完了すると、新規登録した機器の使用可能な用途で Bluetooth 接続または Apple CarPlay ／ Android Auto が Wi-Fi® 接続されます。新規登録した機器と同じ使用用途で Bluetooth 接続されている機器がある場合、接続されていた機器の接続は切断されます。

知識

- Apple CarPlay ／Android Autoを使用しているとき、他のデバイスをBluetooth登録／接続すると、Apple CarPlay ／ Android Auto を停止するかのメッセージが表示されます。［はい］を選択すると、他のデバイスを登録／接続します。
- Bluetooth 機器は、本機に 8 台まで登録できます。

Bluetooth 機器を接続する

本機は、登録されている Bluetooth 機器を認識すると、認識した機器と自動で Bluetooth 接続します。

自動で接続された機器以外の登録されている機器を接続する場合は、次の手順で接続してください。

1 機器登録／削除画面（→ P. 19）

2 登録されている機器の使用用途表示を選択する（→ P. 19）

- 接続したい Bluetooth 機器が表示されていない場合は、新規登録して接続してください。（→ P. 20）
- ［電話］と［オーディオ］の両方に対応した Bluetooth 機器では、両方同時に使用用途として設定することができます。

知識

- Bluetooth 機器の Bluetooth 機能を ON にしてから操作してください。また、Apple CarPlay ／ Android Auto を Wi-Fi® で接続する場合は、機器の Wi-Fi® 機能を ON にしてから操作してください。
- Apple CarPlay を使用中の iPhone では、Bluetooth 接続することができません。
- Android Auto を使用中の Android™デバイスでは、Bluetooth オーディオを使用することができません。

Bluetooth の仕様、対応プロファイルについて

→ P. 117

知識

●この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
（上記 3 種の無線局を以下「他の無線局」と略します）
この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。

●この機器の使用周波数帯は 2.4GHz 帯です。
変調方式として FH-SS 変調方式を採用しています。
想定与干渉距離は 10m 以下です。
この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

●本製品は、電波法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。

●本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

⚠ 警告

安全のため、運転者は運転中に Bluetooth 機器本体の操作をしないでください。

⚠ 注意

Bluetooth 機器は車室内に放置しないでください。

炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

■ ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

Bluetooth 通信時の電波について、次の点にご注意ください。

⚠ 警告

植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。

システム設定

時計の設定や操作音などを ON ／ OFF できます。

システム設定画面の操作

ホーム画面（→ P. 11）→［設定］

システム設定以外の画面が表示された場合は、［システム設定 ］を選択してください。



●故障表示

表示を ON ／ OFF できます。

登録済みの連絡先などに電話をかけることができます。（Bluetooth 接続時）

・ 連絡先の登録（→ P. 31）

●車両インフォメーション表示※

表示を ON ／ OFF できます。

●メンテナンス設定

・ 各種点検およびメンテナンス項目のお知らせ表示を ON ／ OFF できます。
・ 各種項目の日付または走行距離を設定すると、設定したタイミングで案内が表示されます。事前案内もあります。
・ ○○ km ／○○ km は、案内までの残りの距離／設定距離を表します。

●お気に入りボタン割り当て

画面外の☆ボタンを押したときに表示されるお気に入りの機能を登録できます。

●案内音量設定

次の音量を設定できます。

・ 駐車支援ガイド音※
・ 音声認識機能の音声認識トークバック
・ 故障時音声案内

●Android Auto 音量設定

次の音量を設定できます。

- 音楽
- 電話
- ガイダンス／音声認識

●操作音

各種操作を行った場合の操作音を ON ／ OFF できます。

●オープニング画像設定

本機起動時の画面表示について、次を設定できます。

- パノラマモニター画面表示の ON ／ OFF※
- ユーザー画像表示の ON ／ OFF
- ユーザー画像取り込み（→ P. 26）

●音声認識設定

音声認識機能について、次の設定を ON ／ OFF できます。

- 音声認識コマンドリスト表示
- 音声認識開始音声

音声認識機能の音声認識コマンドリストを確認できます。

●タッチ感度調整

タッチスイッチの感度レベルを調整できます。

●スマートフォン置忘れ案内

車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>“OFF”時の案内表示をON／OFFできます。

●ドライブレコーダー設定※（→ P. 109）

ドライブレコーダーの設定ができます。

●カメラ設定（→ P. 77）

バックガイドライン※ やコーナーセンサー表示を ON ／ OFF できます。

●時計設定

時刻表示を ON ／ OFF できます。

時刻は、GPS 情報をもとに自動調整されます。（GPS 時計）

GPS から時刻情報を取得できないときは、本機と接続しているスマートフォンから時刻情報を取得します。

GPS およびスマートフォンから時刻情報を取得できないときは、時刻と日付を設定できます。GPS 情報を取得すると、時刻と日付は自動的に補正されます。

●セキュリティ設定（→ P. 28）

暗証番号を設定することにより、セキュリティの設定ができます。

●設定初期化

本機の設定を工場出荷状態に戻します。

●バージョン情報

本機のバージョン情報を確認できます。

●テレビ設定（→ P. 40）

12 セグ／ワンセグの切り替えや放送局サーチなどの設定ができます。

●著作権情報

各種著作権情報を表示します。

※対応システム接続時のみ

ユーザー画像取り込み

本機起動時、お好みの画像をオープニング画像として表示させることができます。

1 画像ファイルが入った USB メモリーを接続（→ P. 18）

2 システム設定画面（→ P. 24）→［オープニング画像設定］→［ユーザー画像表示］ON →［ユーザー画像取り込み］

3 を選択



4 フォルダ／ファイルリストから、画像ファイルを選択

① フォルダ／ファイルリスト表示の ON ／ OFF

② 前の画像ファイルを選ぶ

③ 次の画像ファイルを選ぶ



5 ［決定］を選択

画像が設定されると、［ユーザー設定］が青色に切り替わります。

［初期設定］を選択すると、初期画面に戻ります。

知識

●本機で使用できるメディアやデータについては、「使用できるメディア／データについて」（→ P. 112）をご覧ください。
●本機に対応していないフォーマットのファイルを読み込んだとき、動作に影響をおよぼすことがあります。
●ファイルサイズなどにより、読み込みに時間がかかることがあります。
●一度画像を取り込んだあと、新しい画像を取り込むと古い画像は消去されます。

⚠ 警告

●安全のため、ユーザー画像取り込み操作は、お車を完全に停止した状態で行ってください。

⚠ 注意

●USB メモリーを車室内に放置しないでください。
炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

セキュリティ設定

1 システム設定画面（→ P. 24）→［セキュリティ設定］

▶暗証番号未設定時

2 ［設定］を選択

3 4 ケタの暗証番号を入力し、［入力終了］を選択



4 ［確認］を選択

▶セキュリティ再設定時

2 ［設定］を選択

3 ［はい］を選択

4 現在の 4 ケタの暗証番号を入力し、［入力終了］を選択

5 新しい 4 ケタの暗証番号を入力し、［入力終了］を選択

▶セキュリティ設定解除時

2 ［解除］を選択

3 ［はい］を選択

4 4 ケタの暗証番号を入力し、［入力終了］を選択

知識

●車両のバッテリー＜補機バッテリー＞端子を外して本機がロックされ操作できなくなった場合、登録したパスワードを入力すると、操作できるようになります。登録したパスワードは忘れないように控えておいてください。セキュリティを解除するときに必要です。

画面の表示設定

画面の明るさなどを調整できます。

表示設定画面の操作

システム設定画面（→ P. 24）→［表示設定（ ）］

●イルミ連動

ONのとき、ランプの点灯状態や周囲の明るさなどと連動して昼画面と夜画面が切り替わります。

●昼画輝度調整

昼間モード時の画面の明るさを調整できます。

●夜画輝度調整

夜間モード時の画面の明るさを調整できます。

オーディオの設定

オーディオの音質や音量バランスを調整できます。

オーディオ設定画面の操作

システム設定画面（→ P. 24）→［EQ 設定（EQ）］

●EQ 選択

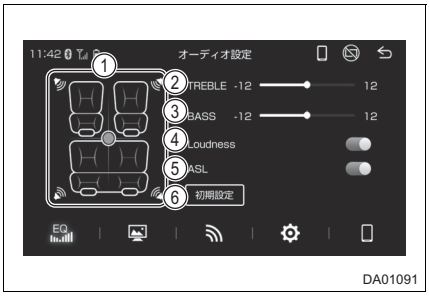
好みの音質を選択できます。
［Custom］のみ手動で調整できます。

●音場設定（→ P. 30）

音場や音量バランスを調整できます。

■ 音場設定

オーディオ設定画面（→ P. 30）→［音場設定］



① 前後左右の音量バランスを調整する

カーソルにタッチし、ドラッグして微調整できます。

② TREBLE（高音）を調整する

③ BASS（低音）を調整する

④ Loudness を ON ／ OFF する

低音と高音を強調します。

⑤ ASL を ON ／ OFF する

車速に応じて音質／音量を補正します。

⑥ 初期設定に戻す

通信設定

Bluetooth の接続や連絡先の電話番号などを設定できます。

通信設定画面の操作

システム設定画面（→ P. 24）→［通信設定（ ）］

●Bluetooth 設定（→ P. 19）

電話帳／履歴自動転送の ON ／ OFF や接続した Bluetooth 機器の使用用途を選択できます。

●連絡先設定

［販売店］、［事故・故障センター］※、［ロードサービス等］を選択し、電話番号を入力。［入力終了］を選択し、登録を終了します。

※ ダイハツ事故・故障センターの電話番号は、あらかじめ登録されています。

●Wi-Fi 設定（→ P. 31）

Apple CarPlay 用／ Android Auto 用 Wi-Fi® 接続の ON ／ OFF などができます。

■ Wi-Fi® 設定



① Apple CarPlay 用／Android Auto 用の Wi-Fi® 接続を ON ／ OFF する

② パスワード表示を ON ／ OFF するごとにパスワードの表示／非表示が切り替わる

③ パスワード表示を ON ／ OFF する

④ Wi-Fi® 接続用のパスワードをリセットする

知識

●本機に表示されるパスワードは、本機と Wi-Fi® デバイス間の通信を保護するためのものであるため、通常のご利用においてパスワードをリセットする必要はありません。

●本機のパスワードがリセットされると、Apple CarPlay 用／ Android Auto 用の Wi-Fi® が接続されないことがあります。このようなときは、次のいずれかの方法を試みてください。

・デバイスと本機を再接続、または再登録する（→ P. 19）

・本機に表示されているパスワードをデバイス側に入力し再接続する

Wi-Fi® の対応規格について

→ P. 118

知識

●この機器の使用周波数帯は 5GHz 帯です。
変調方式として OFDM 変調方式を採用しています。

●本製品は、電波法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。

●本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

●Wi-Fi® 通信用の車両側アンテナは本機内に内蔵されています。

■ ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

Wi-Fi® 通信時の電波について、次の点にご注意ください。

⚠ 警告

植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。

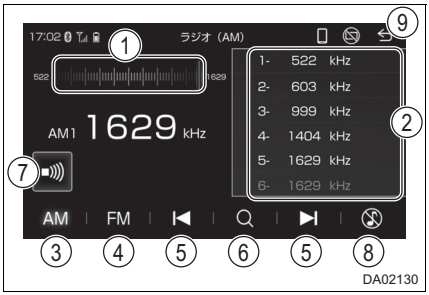
オーディオ & ビジュアル 2

2-1. ラジオを聞く
AM ／ FM ラジオを操作する …… 34
2-2. メディアの再生／視聴
テレビを操作する …… 36
USB メモリーを操作する …… 42
iPod を操作する …… 45
Bluetooth オーディオを操作する …… 47
HDMI を操作する …… 49
2-3. ステアリングスイッチの操作
ステアリングスイッチで操作する …… 50

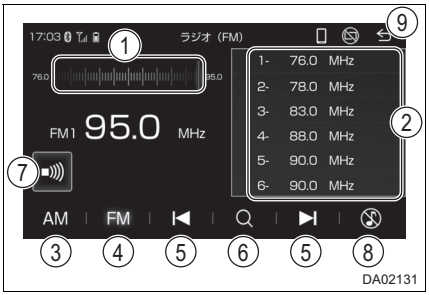
AM ／ FM ラジオを操作する

ホーム画面（→ P. 11）→［ラジオ］

▶AM ラジオ



▶FM ラジオ



① 周波数の選択

周波数帯域を選択して、周波数を切り替えます。

② プリセットスイッチ

記憶した周波数を選択します。

記憶したい周波数に切り替え、“ピッ”と音がするまで選択すると、その周波数を記憶します。

③ AM ラジオバンドの切り替え

選択するたびに、AM1 ／ AM2 が切り替わります。

④ FM ラジオバンドの切り替え

選択するたびに、FM1 → FM2 → FM3 の順に切り替わります。

⑤ 周波数の切り替え

選択するたびに、周波数が切り替わります。

“ピッ”と音がするまで選択すると、受信感度がよく現在受信している周波数に一番近い周波数を自動で受信します。

⑥ 受信可能な周波数をプリセットスイッチに順次記憶

⑦ 交通情報画面に切り替え（→ P. 35）

⑧ オーディオを OFF

［♪］を選択すると、オーディオを ON します。

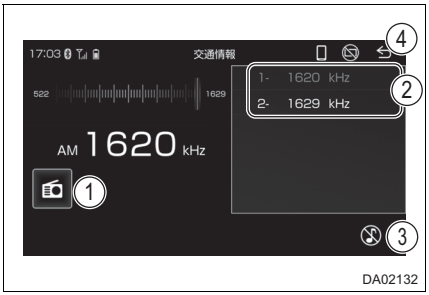
⑨ ホーム画面を表示

知識

●走行中、受信状態は刻々と変わるため電波の強さが変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難なことがあります。

交通情報を聞く

ホーム画面（→ P. 11）→［交通情報］



① ラジオ操作画面に切り替え

② プリセットスイッチ

［1620kHz］、［1629kHz］から選択します。

③ オーディオを OFF

［♪］を選択すると、オーディオを ON します。

④ ホーム画面を表示

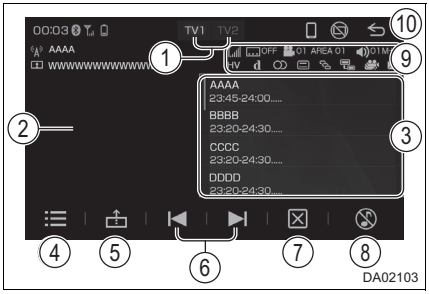
知識

●交通情報受信中は、周波数帯域を操作しても、周波数は切り替わりません。

テレビを操作する

テレビを視聴する

ホーム画面（→ P. 11）→［テレビ］



① プリセット一覧の切り替え

2 つのプリセット一覧（TV1 ／ TV2）があり、それぞれに 12 局ずつ放送局をプリセットスイッチに登録し、使い分けることができます。

② 映像を全画面で表示

映像を選択すると、操作画面を表示します。

③ プリセットスイッチ

記憶したチャンネルを選択します。

記憶したいチャンネルを選択し、“ピー”と音がするまで選択すると、そのチャンネルを記憶します。

④ 番組表を表示（→ P. 37）

⑤ TV メニューを表示（→ P. 37）

⑥ チャンネルの切り替え

選択するごとに、受信するチャンネルを切り替えます。

“ピッ”と音がするまで選択すると、受信感度がよく、現在受信している周波数に一番近いチャンネルを受信します。

⑦ 操作画面を OFF

映像を選択すると、操作画面を表示します。

⑧ オーディオを OFF

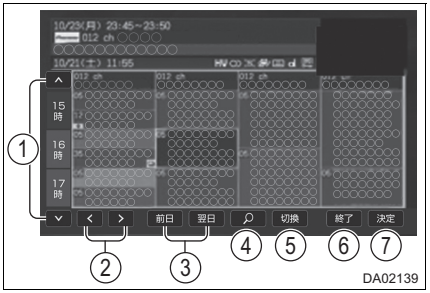
［♪］を選択すると、オーディオを ON します。

⑨ 受信中のテレビの状態を表示

⑩ ホーム画面を表示

番組表を操作する

TV 操作画面（→ P. 36）→



① 放送日時の切り替え

② チャンネルの切り替え

③ 放送日の切り替え

④ 番組をジャンルで検索

ジャンルを選択し、番組を検索します。検索された番組を選択すると、その番組に切り替えます。

放送予定の番組の場合は、その番組の情報を表示します。

［終了］を選択すると、映像を表示します。

⑤ 表示チャンネル数を３段階で切り替え

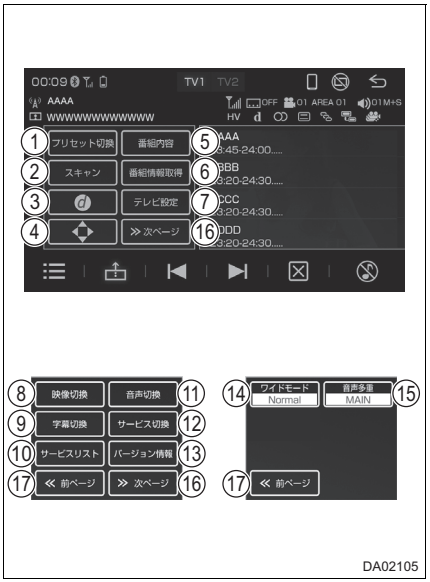
⑥ 映像に戻る

⑦ 選択した番組の番組内容を表示

選択した番組が放送中の番組の場合は、その番組のチャンネルに切り替えます。

TV メニュー画面を操作する

TV 操作画面（→ P. 36）→



① プリセットモードの切り替え

選択するたびに、プリセットスイッチ（USER ／ AREA）を切り替えます。

- USER：ユーザーが登録した放送局
- AREA：地域設定（→ P. 40）で設定した地域の放送局

② 放送局を自動で登録

“ピッ”音がするまで選択すると、受信状態のよい放送局が自動でプリセットスイッチに登録されます。

中止するときは、［中止］を選択します。

③ データ放送を表示（→ P. 39）

④ データ放送の操作スイッチを表示（→ P. 39）

⑤ 視聴中の番組内容を表示

［終了］を選択すると、映像に切り替えます。

⑥ 最新の番組表や番組内容に切り替え

⑦ テレビの機能を設定（→ P. 40）

⑧ 映像の切り替え

番組に複数の映像がある場合、選択するたびに映像 1、映像 2 を切り替えます。

⑨ 字幕の切り替え

番組に字幕がある場合、選択するたびに字幕 1 →字幕 2 →字幕 OFF の順に字幕の表示が切り替わります。

⑩ サービスリストを表示

受信中のチャンネルで複数のサービスが提供されている場合、視聴したいサービスを選択するとサービスを切り替えます。

⑪ 音声の切り替え

番組に複数の音声がある場合、選択するたびに、音声 1、音声 2 を切り替えます。

⑫ サービスの切り替え

受信中のチャンネルで複数のサービスが提供されている場合、選択するたびにサービスを切り替えます。

⑬ ソフトウェアバージョン情報を表示

⑭ ワイドモードの切り替え

ワイドモードを選択します。

- ［Full］：映像の比率に関係なく画面サイズに合わせて拡大または縮小して表示
- ［Zoom］：Full モードに対して縦方向に 4 ／ 3 倍に拡大して表示
- ［Normal］：映像の比率は変えずに画面サイズに合わせて拡大または縮小して表示

⑮ 音声多重の切り替え

音声多重放送を受信中、選択するたびに、MAIN（主音声）→ SUB（副音声）→ MAIN+SUB（主音声・副音声）の順に切り替わります。

⑯ 次のページに切り替え

⑰ 前のページに切り替え

知識

●プリセットモードは、プリセット一覧（→ P. 36）ごとに設定できます。

データ放送を操作する

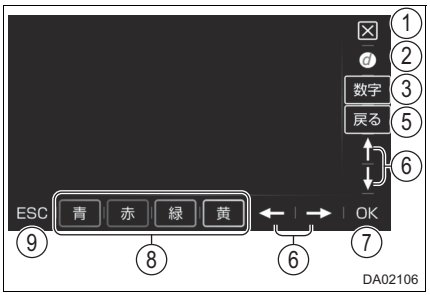
データ放送とは地上デジタルテレビ映像の他に、図形や文字の情報を付加した放送です。受信するデータ放送により、番組の内容と関係ないニュースや天気、交通情報などの独立した情報や番組に連動した情報を見ることができます。画面に表示される説明の順に操作すると、様々な情報を見ることができます。受信したデータ放送は色スイッチ、カーソル、10 キー（テンキー）などで操作します。操作方法は受信したデータ放送により異なります。

TV 操作画面（→ P. 36）→  → 

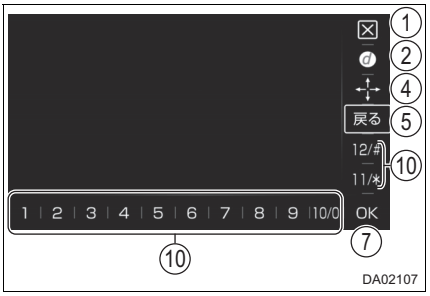
データ放送を操作するときは を選択し、操作スイッチを表示する

●受信したデータ放送により、、または［数字］を選択し、操作スイッチを切り替える

▶  選択時



▶［数字］選択時



① 操作スイッチを消去
② データ放送を表示／消去
③ 操作スイッチを数字に切り替え
④ 操作スイッチをカーソル・色スイッチに切り替え
⑤ 1 つ前の表示に戻る
⑥ カーソルを操作
⑦ カーソルで選択した項目または入力した数字を決定
⑧ 色スイッチ
⑨ 設定の取り消しや決定を中止
⑩ 数字を入力

テレビの機能を設定する

▶TV 操作画面から設定する

TV 操作画面（→ P. 36）→ → ［テレビ設定］

▶システム設定画面から設定する

システム設定画面（→ P. 24）→ ［テレビ設定］



① 受信状態に応じて、通常の放送（12 セグ）とワンセグの切り替え方法を設定

選択するたびに、オート／マニュアルを切り替えます。

- オート：受信状態に応じて、通常の放送（12 セグ）とワンセグを自動で切り替えます。
- マニュアル：通常の放送（12 セグ）とワンセグを手動で切り替えます。
- オートに設定したときは、［シンク切換］を ON に設定すると、映像と音声のズレを補正します。

② 受信状態に応じて、他の中継局や系列局を自動で探すかを設定

［中継局 ＋ 系列局］、［中継局］、［OFF］から選択します。

- ［中継局 ＋ 系列局］：自動で中継局、系列局を探します。
- ［中継局］：自動で中継局を探します。
- ［OFF］：中継局、系列局を探さない

③ 視聴中のチューナーの利用方法を設定

［オート］、［全チューナー固定］から選択します。

- ［オート］：必要に応じて 2 チューナーで放送を受信し、残りのチューナーで受信感度のよい中継局の受信や、番組情報を取得します。
- ［全チューナー固定］：常に全チューナーで放送を受信します。

④ 文字スーパーの言語や表示を設定

［第 1 言語］、［第 2 言語］、［非表示］から選択します。

- ［第 1 言語］：第 1 言語で表示
- ［第 2 言語］：第 2 言語で表示
- ［非表示］：文字スーパー非表示

⑤ イベントリレーの受信を設定

［オート］、［マニュアル］から選択します。

- ［オート］：視聴中の番組が別のチャンネルで放送されるときに、自動でチャンネルを切り替えます。
- ［マニュアル］：手動でチャンネルを切り替えます。

⑥ エリアプリセットに使用する地域を設定

受信する地域を選択します。

50 音を選択すると、選択した頭文字の地域に移動します。

⑦ データ放送を受信する地域を設定

受信する地域の郵便番号を入力します。

⑧ 番組表の表示を設定

番組表の表示を［メインチャンネル］、または［全チャンネル］に設定します。

- ［メインチャンネル］：メインチャンネルの番組表を表示します。
- ［全チャンネル］：全チャンネルの番組表を表示します。

⑨ チャンネル表示設定をON／OFFする

OFF にすると、画面右上のチャンネルおよび放送局表示が一定時間表示され消えます。

⑩ テレビの設定を消去

［はい］を選択すると、設定を消去します。

緊急警報放送（EWS）について

緊急警報放送（EWS:Emergency Warning System）は、緊急警報信号を送信し、地震や津波などの情報をお知らせする放送です。緊急警報放送は、警戒宣言、津波警報、知事からの要請があったときに放送されます。

■ 緊急警報放送を受信したときは

緊急警報放送を受信した場合、自動で放送内容が表示されます。放送が終了すると、自動的にもとの番組に戻ります。

⚠ 警告

●安全上の配慮からお車を完全に停止し、パーキングブレーキをかける、またはシフトポジションをＰにしたときのみ映像をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）

USB メモリーを操作する

◆ USB 接続

→ P. 18

音楽ファイルを再生する

ホーム画面（→ P. 11）→［USB］→［オーディオ］



① プログレスバー
タッチ操作、ドラッグ操作で早送り／早戻しします。

② ファイルリストを表示（→ P. 43）

③ 前の曲を選ぶ

④ 再生／一時停止

⑤ 次の曲を選ぶ

⑥ ランダム再生
選択するたびに、通常再生、ランダム再生が切り替わります。

⑦ リピート再生
選択するたびに、通常再生→ 1 曲リピート再生→フォルダリピート再生（［アーティスト］・［アルバム］・［フォルダ］選択時）の順に切り替わります。

⑧ オーディオを OFF
［♪］を選択すると、オーディオを ON します。

⑨ オーディオ／ビデオ／ピクチャー選択画面を表示

ビデオファイルを再生する

ホーム画面（→ P. 11）→［USB］→［ビデオ］



① 映像を全画面で表示
映像を選択すると、操作画面を表示します。

② プログレスバー
タッチ操作、ドラッグ操作で早送り／早戻しします。

③ ファイルリストを表示（→ P. 43）

④ 前のビデオを選ぶ

⑤ 再生／一時停止

⑥ 次のビデオを選ぶ

⑦ オーディオを OFF
［♪］を選択すると、オーディオを ON します。

⑧ オーディオ／ビデオ／ピクチャー選択画面を表示

画像ファイルを再生する

ホーム画面（→ P. 11）→［USB］→［ピクチャー］



① 画像を全画面で表示
画像を選択すると、操作画面を表示します。

② ファイルリストを表示（→ P. 43）

③ 画像の表示を回転
選択するたびに、画像の表示が右に90° ずつ回転します。

④ 前の画像を選ぶ

⑤ スライドショーを再生／一時停止

⑥ 次の画像を選ぶ

⑦ 画像を縮小

⑧ 画像を拡大

⑨ オーディオ／ビデオ／ピクチャー選択画面を表示

ファイルリストを表示する

を選択すると、ファイルリストが表示されます。音楽ファイル再生中は、［アーティスト］・［曲］・［アルバム］・［フォルダ］それぞれのリストから選択できます



知識

- 本機で使用できるメディアやデータについては、「使用できるメディア／データについて」（→ P. 112）をご覧ください。
- 本機に対応していないフォーマットのファイルを読み込んだとき、動作に影響をおよぼすことがあります。
- ファイルサイズなどにより、読み込みに時間がかかることがあります。
- 再生中に USB メモリーを抜いたり、接続する機器を抜き差しすると、雑音が入ることがあります。

■ こんなメッセージが表示されたときは

メッセージ	原因	処置
非対応の USB 機器が接続されました	対応していない USB 機器を接続したため。	対応している USB メモリーをご確認ください。（→ P. 112）
対応していないフォーマットのため、再生できませんでした	本機でサポートしていないファイルを再生したため。	再生できるファイルをご確認ください。（→ P. 112）
オーディオ／ビデオ／ピクチャーファイルなし	再生できるファイルが USB にないため。	再生できるファイルをご確認ください。（→ P. 112）
HUB が検出されました。USB HUB は利用できません。	USB ハブを接続したため。	USB ハブを取り外してください。（→ P. 18）
過電流保護の為、USB の接続を中止しました。その USB 機器を本機に接続しないでください。再起動してください。	USB 接続している機器の消費電流が規定値を超えているため。	これらの機器をすべて取り外してエンジン＜ハイブリッドシステム＞を再始動してください。指定以外の USB 機器（ハードディスクや USB 扇風機など）は接続しないでください。

⚠ 警告

- 安全のため、運転者は運転中にオーディオの操作をしないでください。
- 安全上の配慮からお車を完全に停止し、パーキングブレーキをかける、またはシフトポジションを P にしたときのみ映像、または画像をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）

⚠ 注意

- USB メモリーを車室内に放置しないでください。
  炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

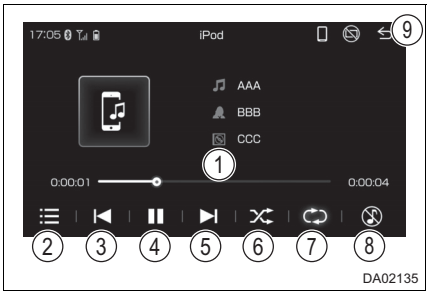
iPod を操作する

◆ iPod 接続

→ P. 18

音楽ファイルを再生する

ホーム画面（→ P. 11）→ [iPod]



① プログレスバー

タッチ操作、ドラッグ操作で早送り／早戻しします。

② ファイルリストを表示（→ P. 46）

③ 前の曲を選ぶ

④ 再生／一時停止

⑤ 次の曲を選ぶ

⑥ ランダム再生

選択するたびに、通常再生、ランダム再生が切り替わります。

⑦ リピート再生

選択するたびに、通常再生→リストリピート再生→ 1 曲リピート再生の順に切り替わります。

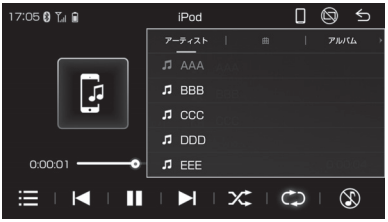
⑧ オーディオを OFF

[♪] を選択すると、オーディオを ON します。

⑨ ホーム画面を表示

■ ファイルリストを表示する

を選択すると、ファイルリストが表示されます。カテゴリー別のリストから選択できます



知識

- 本機で使用できる iPod については、「iPod について」（→ P. 116）をご覧ください。
- iPod モード中に iPod 端子を抜いたり、接続する機器を抜き差ししたりすると、雑音が出ることがあります。
- iPod が接続されている状態で、他モードより iPod モードに切り替えたとき、前回、最後に再生していたトラックから再生されます。
- iPhone 側の Apple CarPlay の設定が無効であるとき、iPhone を USB 接続すると iPod を選択することができます。

⚠ 警告

- 安全のため、運転者は運転中にオーディオの操作をしないでください。

⚠ 注意

- iPod を車室内に放置しないでください。
  炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

Bluetooth オーディオを操作する

◆ Bluetooth 機器の登録

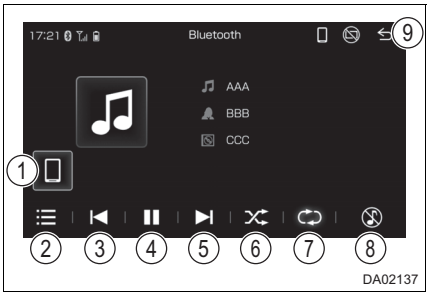
→ P. 20

◆ Bluetooth 機器の接続

→ P. 22

音楽ファイルを再生する

ホーム画面（→ P. 11）→［Bluetooth］



① 機器登録／削除画面を表示（→ P. 19）

② ファイルリストを表示（→ P. 48）

③ 前の曲を選ぶ

④ 再生／一時停止

⑤ 次の曲を選ぶ

⑥ ランダム再生

選択するたびに、通常再生、ランダム再生が切り替わります。

⑦ リピート再生

選択するたびに、通常再生→全曲リピート再生→ 1 曲リピート再生の順に切り替わります。

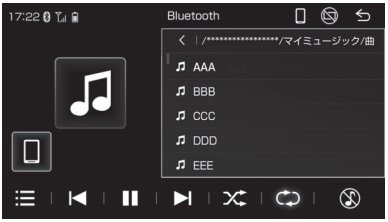
⑧ オーディオを OFF

［♪］を選択すると、オーディオを ON します。

⑨ ホーム画面を表示

■ ファイルリストを表示する

を選択すると、ファイルリストが表示されます。Bluetooth機器により、カテゴリー別のリストから選択できます



知識

●本機に接続するBluetooth機器が対応していなければならない仕様については、「Bluetooth について」（→ P. 117）をご覧ください。
ただし、Bluetooth 機器の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
●本機は、すべての Bluetooth 機器において動作を保証しているわけではありません。
●他の無線機器と同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
●Bluetooth 接続により、Bluetooth 機器の電池が早く消耗します。

■ こんなメッセージが表示されたときは

メッセージ	原因	処置
Bluetooth 未接続。	Bluetooth 機器が接続されていない。	Bluetooth 接続してください。（→ P. 19）

⚠ 警告

●安全のため、運転者は運転中に Bluetooth 機器本体の操作をしないでください。

⚠ 注意

●Bluetooth 機器を車室内に放置しないでください。
炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
●Bluetooth 機器を本機に近付けて使用しないでください。近付け過ぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。

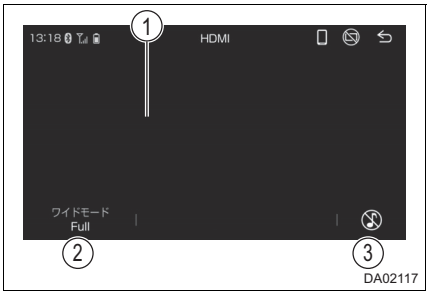
HDMI を操作する

◆ ケーブルを使って外部機器を接続する

→ P. 18

外部機器を再生する

ホーム画面（→ P. 11）→［HDMI］



① 全画面で表示

全画面のとき画面を選択すると、操作画面を表示します。

② ワイドモードの切り替え

ワイドモードを選択します。

- ［Full］：映像の比率に関係なく画面サイズに合わせて拡大または縮小して表示
- ［Zoom］：Full モードに対して縦方向に 4 ／ 3 倍に拡大して表示
- ［Normal］：映像の比率は変えずに画面サイズに合わせて拡大または縮小して表示

③ オーディオを OFF

［♪］を選択すると、オーディオを ON します。

知識

- 本機で使用できる HDMI 機器については、「HDMI について」（→ P. 118）をご覧ください。
- お使いになる前に HDMI 機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続する機器の電源は、機器に付属のバッテリーなどを使用してください。お車に装着されているアクセサリーソケットを使用すると、雑音が出ることがあります。アクセサリーソケットについては、車両本体の取扱説明書をご覧ください。

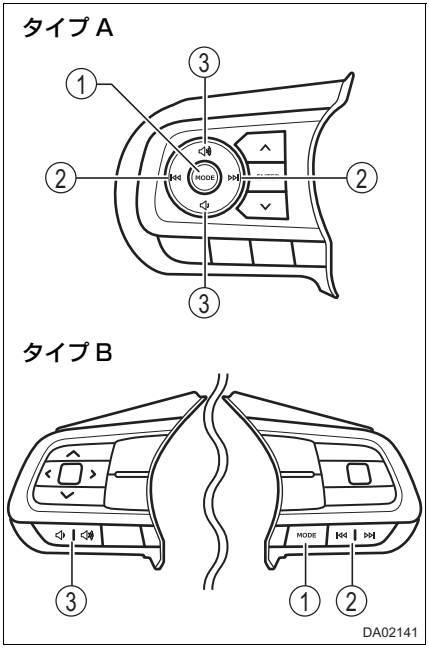
⚠ 警告

- 安全のため、運転者は運転中に接続したオーディオ機器の操作をしないでください。
- 安全上の配慮からお車を完全に停止し、パーキングブレーキをかける、またはシフトポジションを P にしたときのみ映像、または画像をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）

⚠ 注意

- オーディオ機器は車室内に放置しないでください。
  炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

ステアリングスイッチで操作する



① MODE スイッチ

押すたびに、ソースが順番に切り替わります。

1 秒以上押し続けると、消音、または再生を一時停止します。

再度、1 秒以上押し続けると、再生します。

② TUNE・TRACK スイッチ

ラジオ／テレビ：

- 押すたびに、プリセットスイッチに登録されている周波数／チャンネルが順番に切り替わります。
- “ピッ”と音がするまで押すと、受信感度がよく、現在受信している周波数／チャンネルに一番近い周波数／チャンネルを受信します。

  さらに押し続けると、押し続けている間、周波数が切り替わり、手を離すとその位置から周波数を自動で受信します。（ラジオのみ）

USB／iPod／Bluetoothオーディオ：

押すたびに、ファイルを切り替えます。

iPod：押し続けると、早送り／早戻しします。

③ 音量調整スイッチ

押すたびに、音量を切り替えます。

押し続けると連続して音量を切り替えます。

知識

ステアリングスイッチの意匠は、お車によって異なります。詳しくは、車両本体の取扱説明書をご覧ください。

⚠ 注意

●安全運転に支障がないように適度な音量でお聞きください。

ハンズフリー 3

3-1. お使いになる前に
ハンズフリーを使う …… 52
3-2. 基本操作
ステアリングスイッチで操作する …… 53
電話をかける …… 54
電話を受ける …… 57
3-3. ハンズフリーの便利な使い方
通話中の操作 …… 58
3-4. こんなときは
知っておいていただきたいこと …… 59

ハンズフリーを使う

Bluetooth 対応の携帯電話を本機に接続することで、電話を直接操作することなく電話機能を使用できます。

電話の機種により、一部機能が制限される場合があります。

準備

Bluetooth 対応の電話を本機に接続する（→ P. 19）

ハンズフリーが使用できないとき

●次の場合は、ハンズフリーを使用することができません。

- 携帯電話から電話帳データを転送中のとき
- データ通信中など、携帯電話が使用中のとき
- 携帯電話のバッテリー残量が不足しているとき
- 携帯電話の設定が、ハンズフリーモードでないとき

音声について

本機のマイクを通して通話できます。（→ P. 8）

●ハンズフリーで音声や呼び出し音などが出力されると、オーディオ音声などはミュート（消音）されます。

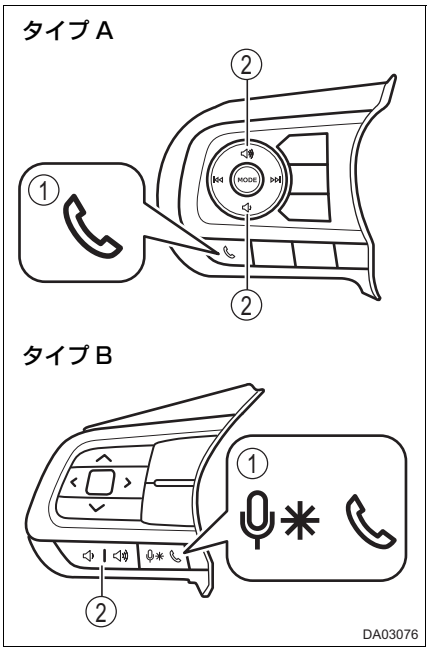
知識

●他の Bluetooth 機器が同時に接続されている場合、ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。

ステアリングスイッチで操作する

電話の主な操作は、ステアリングスイッチでも操作することができます。
Apple CarPlay ／ Android Auto それぞれの電話もステアリングスイッチで操作することができます。

各部の働き



① 電話スイッチ（タイプ A）
トーク／電話スイッチ（タイプ B）

▶着信時

- 電話を受ける※
- スイッチを押し続けると、着信を拒否する※

▶ が画面に表示されているとき
本機Bluetooth接続で電話をかける

▶発信中または通話中

- Apple CarPlay の電話を切る※
- 通話中に押すと、Android Auto の電話を切る
- スイッチを押し続けると、本機 Bluetooth 接続の電話を切る

音声操作で電話をかけている場合、操作が中止されます。

▶本機のオーディオソース、または Android Auto 音楽アプリ再生中など（タイプ A のみ）

- 本機 Bluetooth 接続の電話画面を表示する、または Android Auto の電話画面を表示する
- スイッチを押し続けると、本機 Bluetooth 接続のお気に入りに登録した連絡先に電話をかける

② 音量調整スイッチ
押すたびに、音量を切り替えます。

※ Apple CarPlay で使用しているとき、iPhone の機種、ソフトウェアバージョン、個体差などの要因により操作できないことがあります。

知識

ステアリングスイッチの意匠は、お車によって異なります。詳しくは、車両本体の取扱説明書をご覧ください。

電話をかける

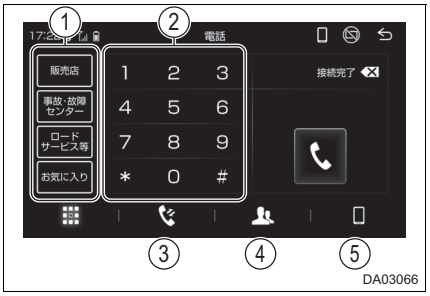
電話画面から色々な方法で電話をかけることができます。

電話画面を表示する

ホーム画面（→ P. 11）→［電話］

●電話が接続されていないときは、機器登録／削除画面が表示されます。（→ P. 19）

電話画面



① あらかじめ登録されている電話番号や、お気に入りとして登録（→ P. 56）した電話番号が表示される

② 電話番号を入力して電話をかける（→ P. 56）

③ 発信または着信の履歴から電話をかける（→ P. 55）

④ 電話帳から電話をかける（→ P. 55）

⑤ 機器登録／削除画面を表示する（→ P. 19）

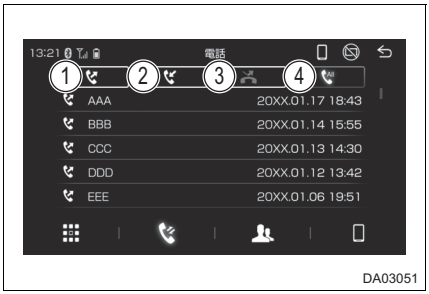
履歴から発信する

発信または着信の履歴として登録されている電話番号から電話をかけることができます。

最新の履歴 200件を表示できます。

1 ホーム画面（→ P. 11）→［電話］

2 を選択



① 発信履歴を表示
② 着信履歴を表示
③ 不在着信履歴を表示
④ すべての履歴を表示

3 希望の通話相手を選ぶ

- 本機の電話帳に登録されていない相手先を選択した場合、電話番号が表示されます。表示された電話番号を選択し発信します。

知識

●履歴が 200件を超えると、古い履歴から自動で削除されます。

電話帳から発信する

登録された電話帳（→ P. 56）から電話をかけることができます。

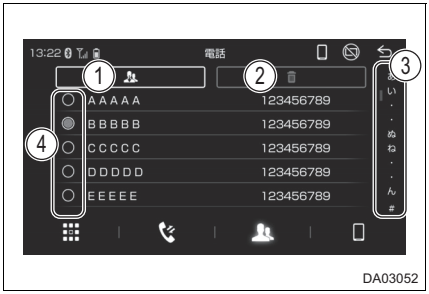
1 ホーム画面（→ P. 11）→［電話］→

2 希望の連絡先を選択

選択した連絡先が、選択状態になります。

3 選択状態の連絡先を再度選択

電話帳を転送／編集する



① 接続している電話から連絡先を読み込む

② 選択状態の連絡先を削除する

③ 選択した頭文字の連絡先まで移動する

④ お気に入りに登録する

○ :お気に入りに未登録

● :お気に入りに登録済み

ダイヤル発信する

1 ホーム画面（→ P. 11）→［電話］

ステアリングスイッチの電話スイッチを押しても電話画面を表示することができます。



① 電話番号を入力する

② 一つ前の番号を削除する

選択し続けるとすべての番号を削除します。

③ 入力した電話番号に発信する

2 電話番号を入力して、発信する

電話を切る

次のいずれかの操作をする。

●ステアリングスイッチの電話スイッチまたはトーク／電話スイッチを押す。（→ P. 53）

●発信中または通話中画面で を選択。

●携帯電話本体で電話を切る。

電話を受ける

着信があると着信音が鳴り、着信画面が表示されます。

電話に出る

着信画面の受話スイッチを選択するか、ステアリングスイッチの電話スイッチまたはトーク／電話スイッチを押す

知識

●周辺監視画面表示中は、着信中画面を表示しません。着信音のみで着信を通知します。

着信を拒否する

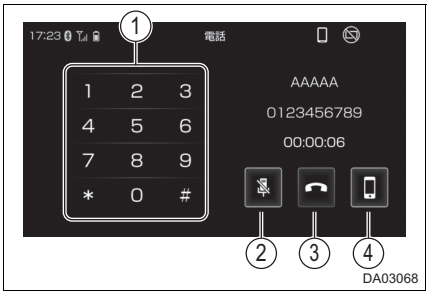
着信画面の  を選択するか、ステアリングスイッチの電話スイッチまたはトーク／電話スイッチを押し続ける

通話中の操作

通話中は通話中画面が表示されます。

通話中は、本機の音量調整ボタン、またはステアリングスイッチの音量調整スイッチを操作することで、通話音量を調整することができます。

通話中画面について



① 番号入力を行う

② 通話中の発話を相手に聞こえないようにする

③ 通話を終了する

④ ハンズフリー通話と電話機本体での通話を切り替える

知っておいていただきたいこと

ハンズフリー／ Bluetooth でお困りの際は、まず次の表を確認してください。

▶ハンズフリー／ Bluetooth を使う

症状	考えられること	処置
ハンズフリー／ Bluetooth を使うことができない	携帯電話が Bluetooth 非対応機種である。	本機で動作確認済みの機種については、ダイハツサービス工場または Web サイト（https://www.daihatsu.co.jp/connect/index.htm）でご確認ください。
	携帯電話のバージョンが Bluetooth に適合していない。	Bluetooth Specification Ver2.1 以上（Ver.4.1+EDR 以上を推奨）の携帯電話を使用してください。（→ P. 117）

▶携帯電話の登録と接続

症状	考えられること	処置
携帯電話が登録できない	携帯電話の登録操作が完了していない。	携帯電話に承認ボタンが表示されているときは承認ボタンを選択して、登録操作を継続してください。
	本機、携帯電話どちらか一方の登録情報が残っている。	本機の登録処理を中止し、再度登録操作を行ってください。（→ P. 19）
		本機、携帯電話双方の登録情報を削除してから、登録操作を行なってください。（→ P. 19）
Bluetooth 接続ができない	お使いになる携帯電話以外がすでに Bluetooth 接続状態にある。	お使いになる携帯電話を本機から手動で Bluetooth 接続してください。（→ P. 19）
	携帯電話の Bluetooth 機能が有効状態でない。	携帯電話の Bluetooth 機能を有効にしてください。

▶着信と発信

症状	考えられること	処置
電話をかける、受けるができない	圏外である。	「圏外」表示が消えるところまで移動してください。
	携帯電話の発信制限（ダイヤルロック）が ON になっている。	携帯電話の発信制限（ダイヤルロック）を OFF にしてください。

▶電話帳

症状	考えられること	処置
電話帳データの転送／自動転送ができない	携帯電話のプロファイルが電話帳データ転送に対応していない。	本機で動作確認済みの機種については、ダイハツサービス工場または Web サイト（https://www.daihatsu.co.jp/connect/index.htm）でご確認ください。
	本機の自動転送設定が OFF になっている。	本機の電話帳自動転送の設定を ON にしてください。（→ P. 19）
	携帯電話が電話帳転送の承認待ちになっている。	携帯電話で電話帳転送承認ボタンを選択してください。
携帯電話に「承認」の確認画面が表示される	承認時に「常に許可」が選択されていない。	携帯電話で「常に許可」を選択し承認してください。
電話帳データが「その他」のフォルダに登録される	携帯電話の電話帳に登録してある名称にふりがながない。	携帯電話の電話帳に登録してある名称にふりがながあるか確認してください。
	携帯電話に電話帳が登録されていない。	携帯電話に電話帳を登録してください。
電話帳データの編集ができない	携帯電話の Bluetooth 機能が有効状態でない。	携帯電話の Bluetooth 機能を有効にしてください。
	電話帳自動転送の設定が ON になっている。	自動転送の設定を OFF にしてください。（→ P. 19）

音声認識機能 4

4-1. 音声認識機能
音声認識の操作 …… 62
音声認識コマンドリスト …… 65

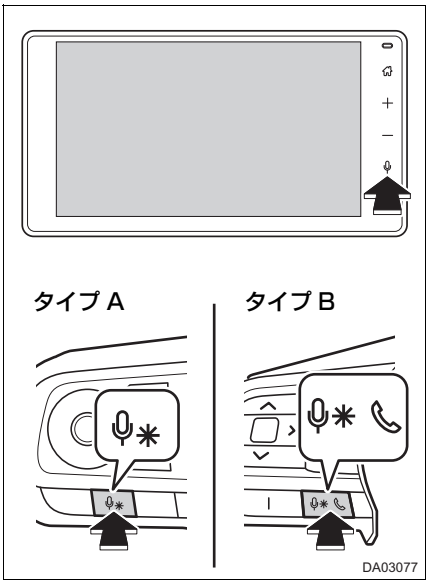
音声認識の操作

音声認識コマンドを発声することにより、オーディオなどの操作を行うことができます。

利用できる音声認識コマンドは、画面に表示される音声認識コマンドリスト／本書の音声認識コマンドリスト（→ P. 65）で確認することができます。

音声認識を起動する

1 トークボタン、トークスイッチ（タイプ A）またはトーク／電話スイッチ（タイプ B）を押す



2  が画面に表示され、“ピッ”と音が鳴ったあと、コマンドを発声する

① 音声認識ステータスバー

② 音声認識コマンドリスト

コマンドが認識されると、認識結果がトークバックされます。



知識

●ステアリングのトークスイッチまたはトーク／電話スイッチの位置は、お車によって異なります。詳しくは、車両本体の取扱説明書をご覧ください。
●オーディオソースの切り替えなど、トークバックがないコマンドもあります。
●音声認識機能は、システム設定画面（→ P. 24）から次を設定できます。
- 音声認識トークバックの音量調節
- 音声認識コマンドリスト表示の ON ／ OFF（OFF にすると、音声認識ステータスバーのみ表示）
- 音声認識開始音声「“ピッ”と鳴ったらお話ください」の ON ／ OFF

●音声認識機能は、次の状況などで起動しないまたは中断されます。
- オープニング画面表示中など、本機起動直後
- バックカメラなど、カメラ映像起動時
- 発着信通話中
- Apple CarPlay ／ Android Auto のモバイル音声認識起動時
- 故障表示の表示中
- ドライブレコーダーのエラーメッセージ表示中※

※ 対応システム接続時のみ

●エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞が“ACC”の場合、“ACC”のときに作動する機能のみが音声認識の操作対象です。
●音声認識機能は、次の状況ではコマンドを認識できない可能性があります。
- 話すスピードが速過ぎる、または遅過ぎる
- 声が小さいまたは大きい
- 窓が開いている（風切り音・外部からの音などによる影響）
- 音声認識使用中に他の人が話している
- エアコンの風量が強めに設定されている
- エアコンの吹き出し口がマイクの方向に向いている
- 悪路を走行している
- 大雨などの悪天候時

起動後に音声認識をキャンセルする

次のいずれかの操作などで、音声認識が終了します。

- ☒ を選択する
- 「キャンセル」など対応コマンドを発声する
- 画面外のトークボタン、ステアリングのトークスイッチまたはトーク／電話スイッチを長押しする
- 画面外のホームボタンまたは☆ボタン、ステアリングの電話スイッチを押す
- カメラ／パーキングアシストスイッチ★を押す

知識

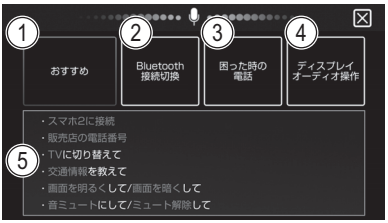
トークバック中に、画面外のトークボタン、ステアリングのトークスイッチまたはトーク／電話スイッチを押すと、トークバック音声がキャンセルされます。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

音声認識コマンドリスト

画面に表示される音声認識コマンドは、利用できるコマンドの一例です。
音声認識コマンドは、お車に装備／接続されている機能のみ認識されます。

音声認識で操作できる機能について



DA03085

① おすすめのコマンドを表示する

青色のコマンドのみを発声しても作動します。

② 登録済みのBluetooth機器を切り替えるなどのコマンドを表示する

- Apple CarPlay ／ Android Auto 接続中は切り替えることはできません。
- ご利用の際は、Bluetooth機器を本機に登録／接続する必要があります。（→ P. 19）

③ 電話画面を表示させるためのコマンドを表示する

- 電話画面から連絡先として登録した［販売店］・［事故・故障センター］などに電話をかけることができます。（→ P. 31, 54）
- Apple CarPlay ／ Android Auto 接続時は、それぞれの電話発信画面が表示されます。
- Bluetooth 機器が本機に登録／接続されていないときは、機器登録／削除画面が表示されます。（→ P. 19）

④ オーディオの操作コマンドを表示する

利用できるオーディオソースは、システムが接続されている、機器が接続されているソースのみです。

⑤ 音声認識コマンド

音声認識コマンド一覧

音声認識コマンド	認識結果
おすすめ	
スマホ 2 に接続	登録済みのスマホ 2 に Bluetooth 接続（電話／オーディオ）
販売店の電話番号	電話画面を表示する
TV に切り替えて	テレビに切り替える
交通情報を教えて	交通情報に切り替える
画面を明るくして／画面を暗くして	画面の輝度を 1 段階上げる／下げる
音ミュートにして／ミュート解除して	オーディオの音声出力 ON ／ OFF
Bluetooth 接続切換	
スマホ○に接続（※Bluetooth 登録済みのスマホ 1 ～ 8 に対応）	登録済みのスマホ○に Bluetooth 接続（電話 / オーディオ）
スマホ○に電話接続（※Bluetooth 登録済みのスマホ 1 ～ 8 に対応）	登録済みのスマホ○に Bluetooth 接続（電話）
スマホ○に音楽接続（※Bluetooth 登録済みのスマホ 1 ～ 8 に対応）	登録済みのスマホ○に Bluetooth 接続（オーディオ）
困った時の電話	
トラブル	電話画面を表示する
ディスプレイオーディオ操作	
音を出して／音を消して	オーディオの音声出力 ON ／ OFF
ラジオ	AM ／ FM ラジオに切り替える
FM ラジオ	FM ラジオに切り替える
AM ラジオ	AM ラジオに切り替える
USB	USB メモリーの再生に切り替える
iPod	iPod の再生に切り替える
HDMI	HDMI に切り替える
交通情報	交通情報に切り替える
Bluetooth	Bluetooth オーディオの再生に切り替える
TV	テレビに切り替える
Apple CarPlay	Apple CarPlay に切り替える
Android Auto	Android Auto に切り替える

音声認識コマンド	認識結果
コマンドリスト	音声認識コマンドリストを表示する
画面を明るく／画面を暗く	画面の輝度を 1 段階上げる／下げる

知識

●「キャンセル」を発声すると音声認識を終了し、もとの画面に戻ります。

●音声認識コマンドは、システム設定画面（→ P. 24）の音声認識コマンドリスト確認でも確認できます。

周辺監視 5

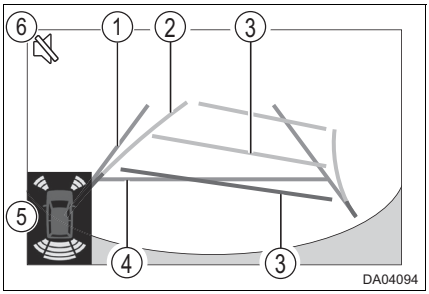
5-1. バックカメラ
バックカメラ …… 70
カメラの設定 …… 77
知っておいていただきたいこと …… 79
5-2. パノラマモニター
パノラマモニター …… 81
カメラの設定 …… 94
知っておいていただきたいこと …… 95

バックカメラ★

バックカメラは車両を後退させるとき、画面上に車両後方の映像を表示させることで、駐車時などの運転を補助する装置です。お使いになる際は、車両本体の取扱説明書もお読みください。

画面の見方について

エンジンスイッチ<パワースイッチ>が“ON”のときに、シフトレバーを R にすると、画面に車両後方の映像が表示される。



① 車幅延長線

お車をまっすぐ後退させたときの進路の目安（緑色）を示す。

- 実際の車幅より広く表示。
- 直進状態になっているときは、予想進路と重なる。

② 予想進路線

ハンドルと連動して、進路の目安（黄色）を示す。

③ 距離目安線（ハンドル連動）

お車の後方の距離を示す。

- 予想進路と連動する。
- バンパーなど車両後端の中心位置から約 0.5m 先（赤色）・約 1m 先（黄色）を示す。

④ 距離目安線

- バンパーなど車両後端から約0.5m先（緑色）を示す。

⑤ コーナーセンサー作動表示

コーナーセンサーが障害物を検知すると、インジケーターが表示されブザーが鳴る。

作動表示	色	障害物との距離
	黄色	リヤセンターのみ：約 150cm ～ 60cm
	黄色	約 60 ～ 45cm
	黄色	約 45 ～ 30cm
	赤色	約 30cm 以内

- コーナーセンサー作動表示は、お車によって異なります。車両本体の取扱説明書をご覧ください。
- コーナーセンサー表示の ON ／ OFF 設定（→ P. 78）

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

⑥ コーナーセンサーブザーOFFアイコン

コーナーセンサー作動中にコーナーセンサーブザー OFF スイッチを押すと、アイコンが表示されブザーが止まる。

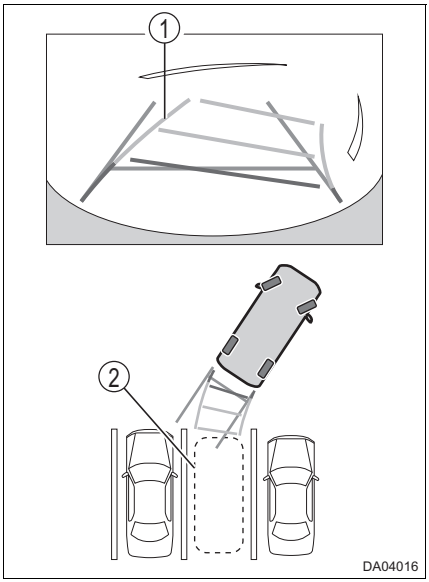
- 詳しくは、車両本体の取扱説明書をご覧ください。

予想進路線表示モードで駐車する

次の手順と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

1 シフトレバーを R にする

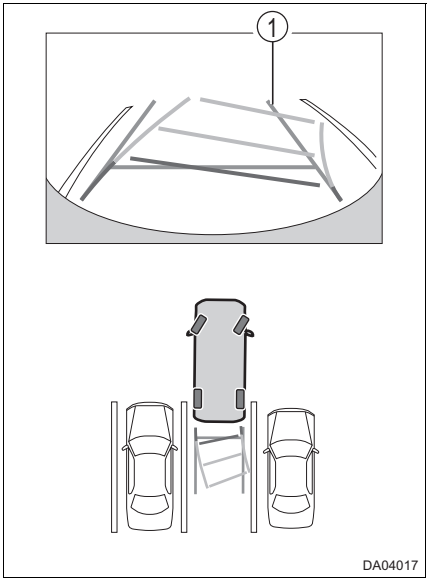
2 予想進路線が駐車スペースの中に入るようにハンドルを操作して、ゆっくり後退する



① 予想進路線

② 駐車スペース

3 お車の後部が駐車スペースの中に入ったら、車幅延長線が駐車スペース左右の区画線の間に入るようにハンドルを操作する



① 車幅延長線

4 車幅延長線と駐車スペースの区画線が平行になったら、ハンドルをまっすぐにして、お車が駐車スペースにすべて入るまで、ゆっくり後退する

5 適切な位置で停車し、駐車を終える

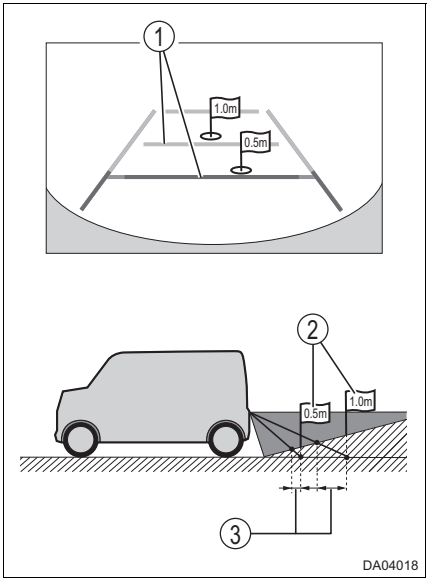
バックカメラの注意点について

■ 画面と実際の路面との誤差について

ガイド線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、次の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。

●急な上り坂が後方にあるとき

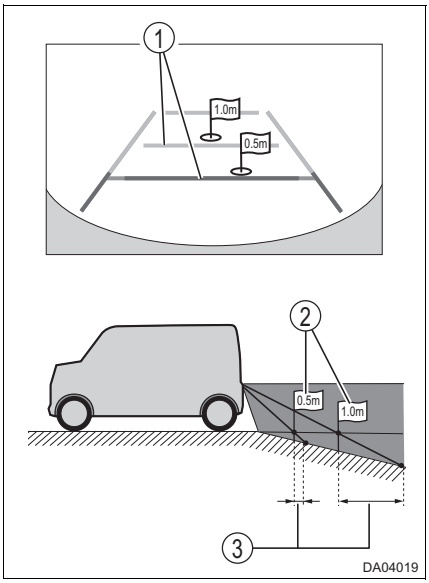
実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。そのため、上り坂にある障害物は実際より遠くにあるように見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。



① 距離目安線
② 実際の距離
③ 誤差

●急な下り坂が後方にあるとき

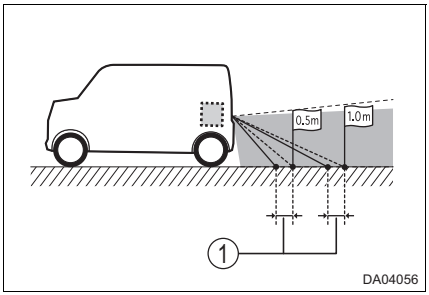
実際の距離より後ろに距離目安線が表示されます。そのため、下り坂にある障害物は実際より近くにあるように見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。



① 距離目安線
② 実際の距離
③ 誤差

●お車が傾いているとき

乗車人数、積載量などによりお車が傾いているときは、実際の距離、進路と誤差が生じます。



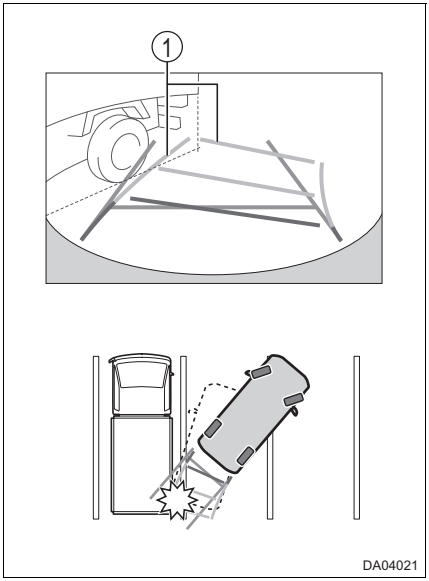
① 誤差

■ 立体物が近くにあるとき

ガイド線は路面に対して表示されているため、立体物の位置を判断することができません。張り出しのある立体物（トラックの荷台のような障害物）が近くにあるときは、次のことに注意してください。

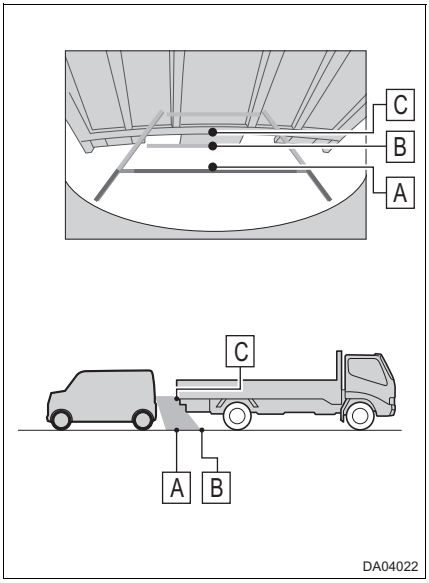
●予想進路線について

周囲の安全を直接確認してください。画面では、トラックの荷台が予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えても、実際は荷台が進路上に張り出しているためぶつかることがあります。



① 予想進路線

●距離目安線について



後方や周囲の安全を直接確認してください。画面では、距離目安線より B の位置にトラックが駐車してあるように見えますが、実際には A の位置まで後退すると、ぶつかります。画面では A、B、C の順に近く見えますが、実際の距離は A と C は同じ距離で、B は A と C より遠い距離にあります。

知識

●カメラが正常に作動せず、画面が次のように表示されることがあります。

画面が次のように表示された場合、システムの故障が考えられます。ダイハツサービス工場で点検を受けてください。

- シフトレバーを R にしたとき、カメラ映像に切り替わらない
- シフトレバーが R のとき、表示されていたカメラ映像が解除される
- システムの故障を示すメッセージが表示される
- 画面の一部、もしくはすべてが黒／青映像で表示される

カメラの設定

ガイド線表示の ON ／ OFF を設定する

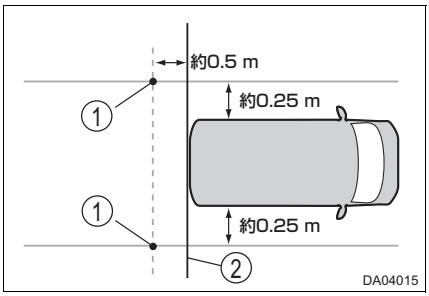
システム設定画面（→ P. 24）→［カメラ設定］

▶ハンドル操作と連動しないガイド線表示
［バックガイドライン］ON ／ OFF

▶ハンドル操作と連動するガイド線表示
［予測線］ON ／ OFF

ハンドル操作と連動しないガイド線を調整する

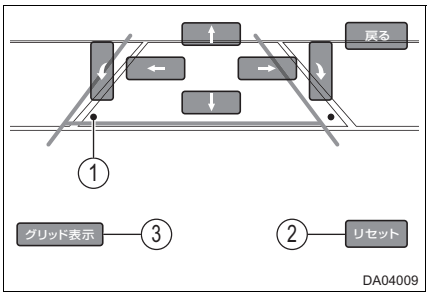
1 車両に対して図の位置に目印を付ける



① 目印
② 車両後端

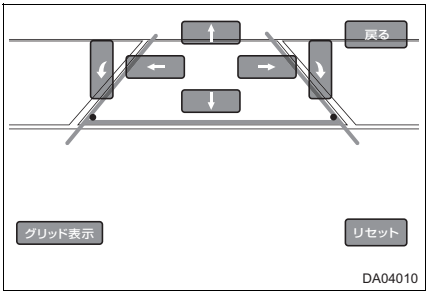
2 システム設定画面（→ P. 24）→［カメラ設定］→［バックガイドライン］ON →［調整］

3 矢印を選択し、位置を調整する



① 目印
② 調整した位置を初期化
③ 調整の目安となるグリッドを表示

4 ガイド線と目印がそろったら、調整を終える



知識

- ガイド線の調整は、通常必要ありません。
- ガイド線の調整は、車両を安全な場所に停止した状態で行ってください。
- 車両から降りて目印を付ける際には、必ず車両のエンジン<ハイブリッドシステム>を停止してください。

コーナーセンサー表示の ON ／ OFF を設定する

システム設定画面（→ P. 24）→［カメラ設定］→［コーナーセンサー］
ON ／ OFF

知っておいていただきたいこと

故障とお考えになる前に

次のような症状で気になったりお困りになったときは、考えられる原因と処置を参考に、再度確認してください。

処置をしても直らないときは、ダイハツサービス工場で点検を受けてください。

考えられる原因	処置
画面が見にくい	
●夜間など暗いところで使用するとき ●レンズ付近の温度が高い、または低いとき ●外気温が低いとき ●カメラに水滴が付いたとき ●雨天時など湿度が高いとき ●カメラ付近に異物（泥など）が付いたとき ●カメラにすり傷が付いたとき ●白壁や明るいものが画面に映り込んだとき ●太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき ●蛍光灯・ナトリウム灯・水銀灯などの照明下で使用したとき	車両周囲の状況を直接確認しながら、運転してください。（カメラおよびその周囲環境が改善されてから、バックカメラを使用してください）
画面が不鮮明	
カメラのレンズに水滴・雪・泥など異物や汚れが付着しているとき	水でカメラの汚れを流したあと、水で湿らせたやわらかい布でふき取ってください。
画面がずれている	
カメラ部に強い衝撃が加わったとき	ダイハツサービス工場で点検を受けてください。
ガイド線が大きくずれる	
カメラの位置がずれているとき	ダイハツサービス工場で点検を受けてください。
●お車が傾いているとき（重い荷物の積載やパンクしてタイヤの空気圧が低いときなど） ●傾斜地で使用するとき	車両周囲の状況を直接確認しながら、運転してください。

考えられる原因	処置
ハンドルが直進状態であるにもかかわらず予想進路線がまがっている（車幅延長線と予想進路線がずれる）	
ステアリングセンサーの信号に異常が発生した	ダイハツサービス工場で点検を受けてください。

パノラマモニター★

パノラマモニターは、車両に取り付けたフロント、サイド、バックカメラの映像を合成して画面上に表示させることで、低速時の運転を補助する装置です。

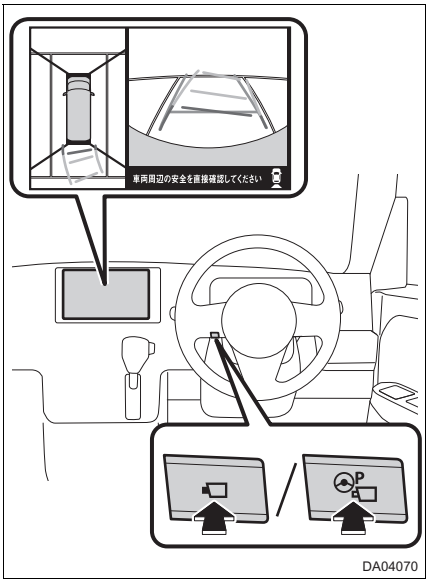
お使いになる際は、車両本体の取扱説明書もお読みください。

カメラ／パーキングアシストスイッチについて

●スイッチを押すと、パノラマモニターの表示が切り替わります。（→ P. 82）

●スイッチを長押しすると、ガイド線表示を ON ／ OFF できます。（→ P. 94）

スイッチの意匠および位置は、お車によって異なります。詳しくは、車両本体の取扱説明書をご覧ください。



知識

●本機起動時のパノラマモニター映像表示を ON ／ OFF できます。（→ P. 24）

5

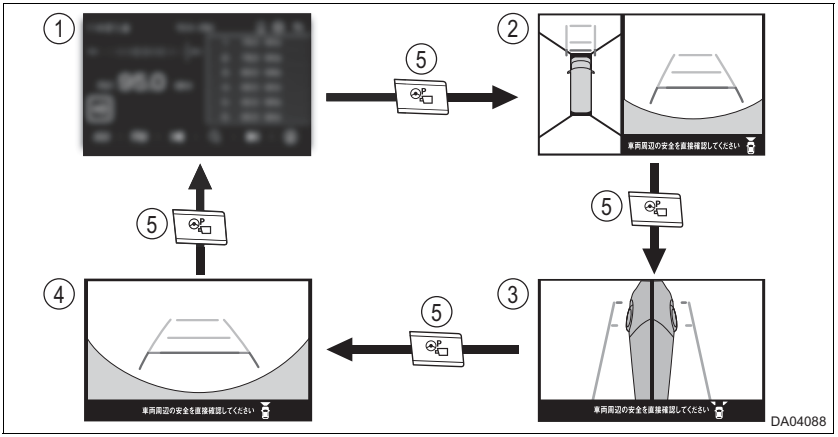
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

パノラマモニター画面表示条件について

エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞が“ON”の状態で、シフトポジション位置に応じたパノラマモニター画面が表示されます。

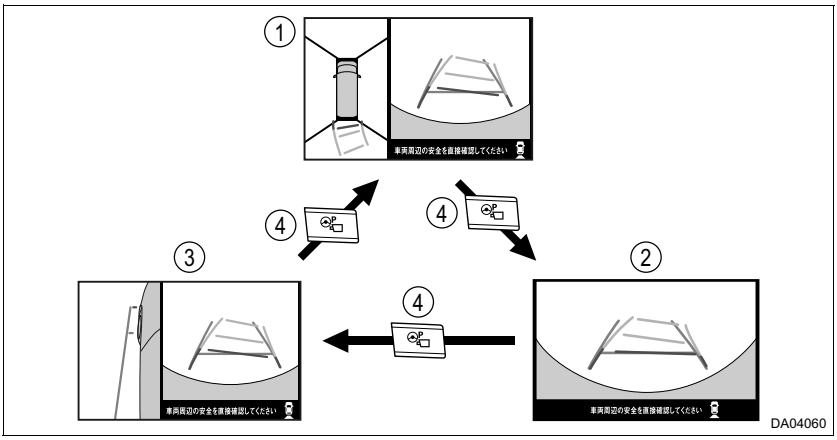
また、カメラ／パーキングアシストスイッチを押してパノラマモニター画面を表示することもできます。（以下は一例です）

▶シフトポジションがR以外のとき



① オーディオ画面（初期画面）
② トップビュー & フロントビュー
③ サイドビュー
④ フロントワイドビュー
⑤ カメラ／パーキングアシストスイッチを押す

▶シフトポジションが R のとき



① トップビュー & リヤビュー（初期画面）
② リヤワイドビュー
③ 左サイドビュー & リヤビュー
④ カメラ／パーキングアシストスイッチを押す

■ オーディオ画面の自動表示について

シフトポジションが R 以外でパノラマモニター画面表示中に次の操作をした場合、自動でオーディオ画面が表示されます。

●約3分間カメラ／パーキングアシストスイッチの操作がなかった

●車速が約 10km/h を超えた

■ 前方を確認したいとき

→ P. 84

■ 側方を確認したいとき

→ P. 85

■ 後方を確認したいとき

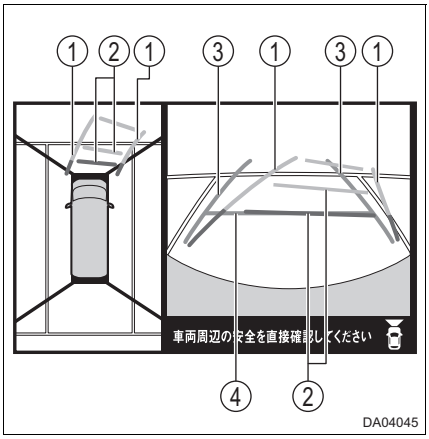
→ P. 86

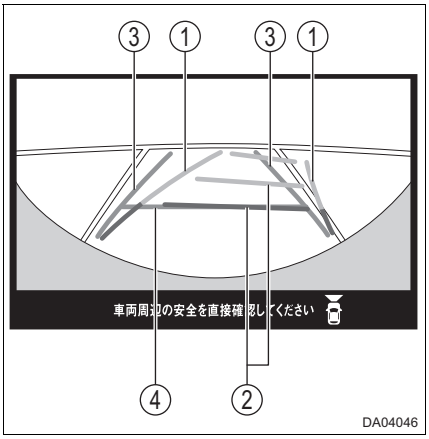
画面の見方について

■ トップビュー & フロントビュー、フロントワイドビュー

シフトポジションが R 以外のときに表示します。

▶トップビュー & フロントビュー ▶フロントワイドビュー





① 前方予想進路線
ハンドルと連動して、進路の目安（黄色）を示す

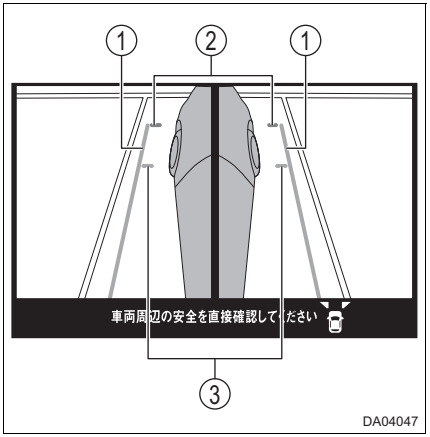
② 前方距離目安線（ハンドル連動）
お車の前方の距離を示す
- 予想進路と連動する
- バンパー前端の中心位置から約0.5m先(赤色)･約1m先(黄色)を示す

③ 前方車幅延長線
お車をまっすぐ前進させたときの進路の目安（緑色）を示す
- 実際の車幅より広く表示
- 直進状態になっているときは、予想進路と重なる

④ 前方距離目安線
お車の前方の距離を示す
- バンパー前端から約 0.5m 先（緑色）を示す

■ **サイドビュー**

シフトポジションが R 以外のときに表示します。

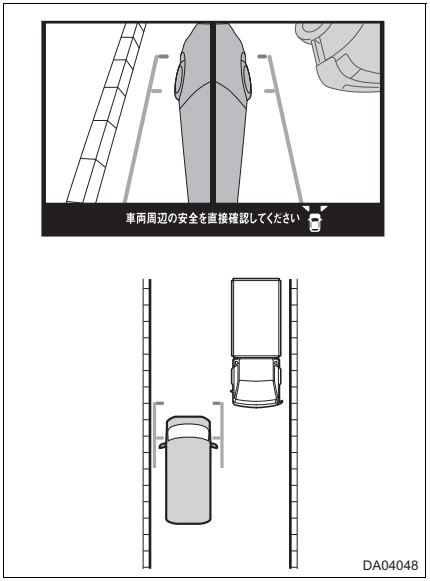


① 車幅平行線
ドアミラー分を含んだ車幅の目安（緑色）を示す

② 前方距離目安線
車両前端から約 0.3m 先（赤色）を示す

③ 前輪接地線
前タイヤの位置（緑色）を示す

●車幅平行線の使い方



- 車幅平行線と障害物との位置関係を見ます。
- 車幅平行線が実際の障害物などに重ならないようにハンドルを操作して前進します。



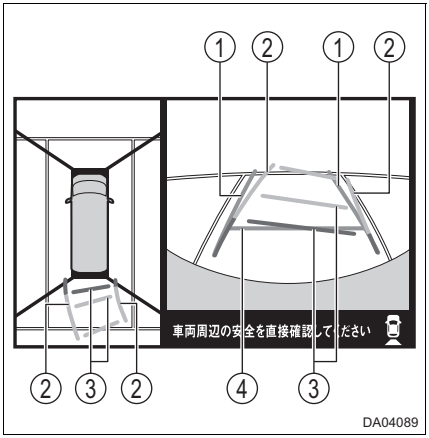
- 車幅平行線と路肩の縁石などの目標物との位置関係を見ます。
- 上記のように車幅平行線が重ならないように車両を幅寄せします。
- 同時に車幅平行線と目標物が平行になるように運転操作することで、目標物に沿って駐車することができます。

■ トップビュー & リヤビュー、リヤワイドビュー、左サイドビュー & リヤビュー

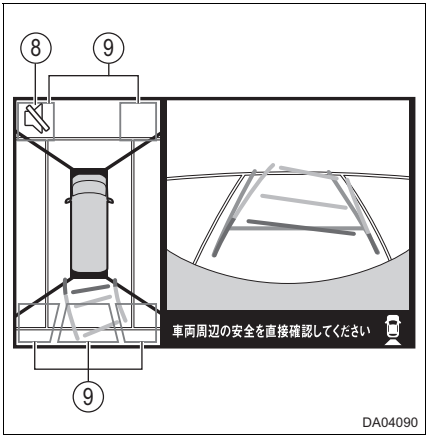
シフトポジションが R のときに表示されます。

予想進路線表示モードで駐車する。(→ P. 71)

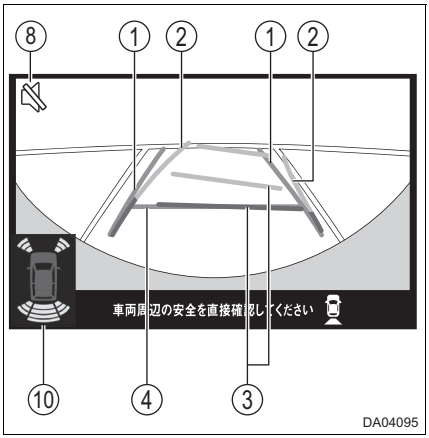
▶トップビュー & リヤビュー



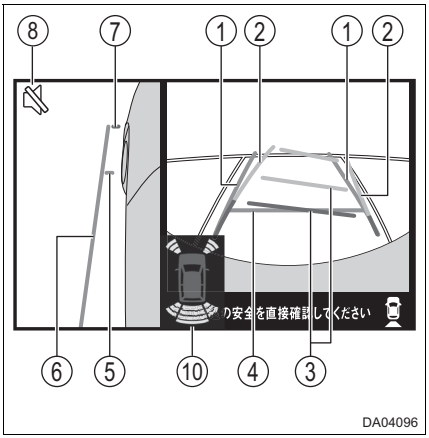
▶トップビュー & リヤビュー（コーナーセンサー作動時）



▶リヤワイドビュー



▶左サイドビュー & リヤビュー



① 後方車幅延長線

お車をまっすぐ後退させたときの進路の目安（緑色）を示す

- 実際の車幅より広く表示
- 直進状態になっているときは、予想進路と重なる

② 後方予想進路線

ハンドルと連動して、進路の目安（黄色）を示す

③ 後方距離目安線（ハンドル連動）

お車の後方の距離を示す

- 予想進路と連動する
- バンパーなど車両後端の中心位置から約 0.5m 先（赤色）・約 1m 先（黄色）を示す

④ 後方距離目安線

お車の後方の距離を示す

- バンパーなど車両後端から約 0.5m 先（緑色）を示す

⑤ 前輪接地線

前タイヤの位置（緑色）を示す

⑥ 車幅平行線

ドアミラー分を含んだ車幅の目安（緑色）を示す

⑦ 前方距離目安線

車両前端から約 0.3m 先（赤色）を示す

⑧ コーナーセンサーブザー OFF アイコン

コーナーセンサー作動中にコーナーセンサーブザー OFF スイッチを押すと、アイコンが表示されブザーが止まる

- 詳しくは、車両本体の取扱説明書をご覧ください

⑨ コーナーセンサー作動表示

コーナーセンサーが障害物を検知すると、枠が表示されブザーが鳴る

枠の色	障害物との距離
緑色	リヤセンターのみ：約 150cm ～ 60cm
緑色	約 60 ～ 45cm
黄色	約 45 ～ 30cm
赤色	約 30cm 以内

- コーナーセンサー作動表示は、お車によって異なります。車両本体の取扱説明書をご覧ください。
- コーナーセンサー表示の ON ／ OFF 設定（→ P. 78）

⑩ コーナーセンサー作動表示

コーナーセンサーが障害物を検知すると、インジケーターが表示されブザーが鳴る

作動表示	色	障害物との距離
	黄色	リヤセンターのみ：約 150cm ～ 60cm
	黄色	約 60 ～ 45cm
	黄色	約 45 ～ 30cm
	赤色	約 30cm 以内

- コーナーセンサー作動表示は、お車によって異なります。車両本体の取扱説明書をご覧ください。
- コーナーセンサー表示の ON ／ OFF 設定（→ P. 78）

●車幅平行線の使い方



- 車幅平行線と路肩の縁石などの目標物との位置関係を見ます。
- 上記のように車幅平行線が重ならないように車両を幅寄せします。
- 同時に車幅平行線と目標物が平行になるように運転操作することで、目標物に沿って駐車することができます。

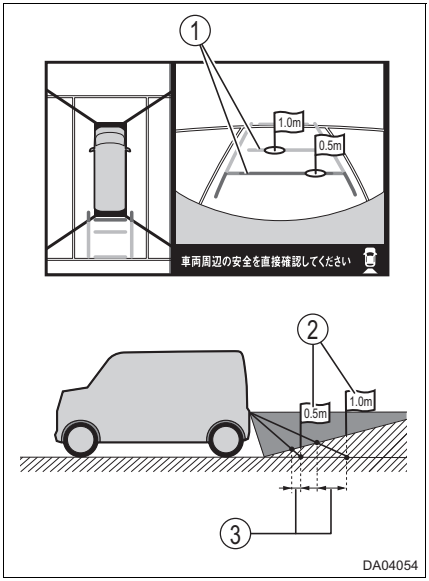
パノラマモニターの注意点について

■ 画面と実際の路面との誤差について（リヤビュー、リヤワイドビュー）

距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、次の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。

●急な上り坂が後方にあるとき

実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。そのため、上り坂にある障害物は実際より遠くにあるように見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。



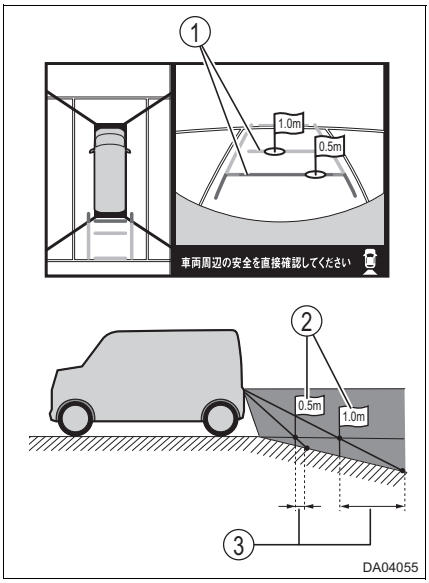
① 距離目安線

② 実際の距離

③ 誤差

●急な下り坂が後方にあるとき

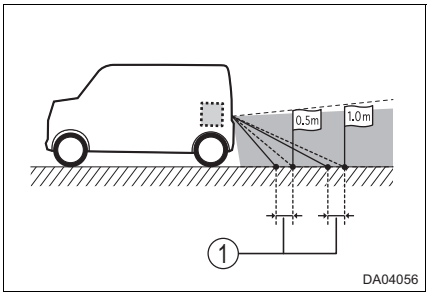
実際の距離より後ろに距離目安線が表示されます。そのため、下り坂にある障害物は実際より近くにあるように見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。



① 距離目安線
② 実際の距離
③ 誤差

●お車が傾いているとき

乗車人数、積載量などによりお車が傾いているときは、実際の距離、進路と誤差が生じます。



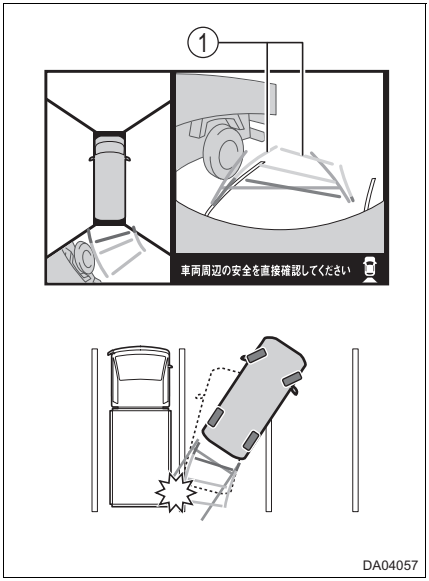
① 誤差

■ 立体物が近くにあるとき（フロントビュー、フロントワイドビュー、リヤビュー、リヤワイドビュー）

ガイド線は路面に対して表示されているため、立体物の位置を判断することができません。張り出しのある立体物（トラックの荷台のような障害物）が近くにあるときは、次のことに注意してください。

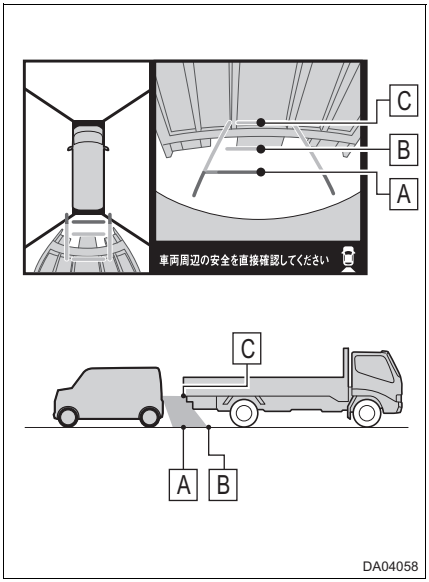
●予想進路線について

周囲の安全を直接確認してください。画面では、トラックの荷台が予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えても、実際は荷台が進路上に張り出しているためぶつかることがあります。



① 予想進路線

●距離目安線について



周囲の安全を直接確認してください。画面では、距離目安線よりBの位置にトラックが駐車してあるように見えますが、実際にはAの位置まで前進、または後退すると、ぶつかります。画面ではA、B、Cの順に近く見えますが、実際の距離はAとCは同じ距離で、BはAとCより遠い距離にあります。

知識

●カメラが正常に作動せず、画面が次のように表示されることがあります。

画面が次のように表示された場合、システムの故障が考えられます。ダイハツサービス工場で点検を受けてください。

- シフトレバーをRにしたとき、カメラ映像に切り替わらない、または黒映像およびシステムの故障を示すメッセージが表示される
- シフトレバーがRのとき、表示されていたカメラ映像が解除される
- システムの故障を示すメッセージが表示される
- 画面の一部、もしくはすべてが黒／青映像で表示される

カメラの設定

ガイド線表示の ON ／ OFF を設定する

1 シフトポジションを P にし、パーキングブレーキをかける

2 フロントワイドビューを表示する（→ P. 82）

3 カメラ／パーキングアシストスイッチを長押しするごとに、各ガイド線表示を ON ／ OFF する

コーナーセンサー表示の ON ／ OFF を設定する

→ P. 78

知っておいていただきたいこと

故障とお考えになる前に

次のような症状になったときは、考えられる原因と処置を参考に、再度確認してください。

処置をしても直らないときは、ダイハツサービス工場で点検を受けてください。

考えられる原因	処置
画面が見にくい	
●夜間など暗いところで使用するとき ●レンズ付近の温度が高い、または低いとき ●外気温が低いとき ●カメラに水滴が付いたとき ●雨天時など湿度が高いとき ●カメラ付近に異物（泥など）が付いたとき ●カメラにすり傷が付いたとき ●白壁や明るいものが画面に映り込んだとき ●太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき ●蛍光灯・ナトリウム灯・水銀灯などの照明下で使用したとき	車両周囲の状況を直接確認しながら、運転してください。（カメラおよびその周囲環境が改善されてから、パノラマモニターを使用してください）
画面が不鮮明	
カメラのレンズに水滴・雪・泥など異物や汚れが付着しているとき	水でカメラの汚れを流したあと、水で湿らせたやわらかい布でふき取ってください。
画面がずれている	
カメラ部に強い衝撃が加わったとき	ダイハツサービス工場で点検を受けてください。
ガイド線が大きくずれる	
カメラの位置がずれているとき	ダイハツサービス工場で点検を受けてください。
●お車が傾いているとき（重い荷物の積載やパンクしてタイヤの空気圧が低いときなど） ●傾斜地で使用するとき	車両周囲の状況を直接確認しながら、運転してください。

考えられる原因	処置
ハンドルが直進状態であるにもかかわらず予想進路線がまがっている（車幅延長線と予想進路線がずれる）、または表示されない	
ステアリングセンサーの信号に異常が発生した	ダイハツサービス工場で点検を受けてください。

スマートフォン連携 6

6-1. Apple CarPlay ／
Android Auto

Apple CarPlay ／
Android Auto について…… 98

Apple CarPlay ／
Android Auto の操作…… 100

モバイル音声認識の操作 … 102

知っておいて
いただきたいこと …… 103

Apple CarPlay ／ Android Auto について

本機の画面上で Apple CarPlay ／ Android Auto 対応アプリ（電話、ミュージック、マップなど）を操作できます。

⚠ 警告

●Apple CarPlay ／ Android Auto および Apple CarPlay ／ Android Auto 対応アプリについて、ダイハツは以下を含む一切の責任を負いません。
- アプリの提供事業者から、Apple CarPlay ／ Android Auto 対応アプリが提供されない場合があること
- 提供された Apple CarPlay ／ Android Auto 対応アプリが、本機で問題なく、お客様が満足できる品質で動作しない場合があること
- 提供された Apple CarPlay ／ Android Auto 対応アプリが、お客様の特定の目的に合致しない場合があること

●Apple CarPlay ／ Android Auto および Apple CarPlay ／ Android Auto 対応アプリを利用したこと、または利用できなかったことにより、お客様または第三者に以下を含むいかなる損害が生じた場合であっても、ダイハツは一切の責任を負いません。
- 死亡または傷害
- 本機を搭載したお車の故障・破損を含む物的な損害
- データの破損・消失
- 逸失利益

●安全のため、運転者は走行中に極力操作をしないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。お車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。

Apple CarPlay ／ Android Auto の接続について

▶iPhone（Apple CarPlay）

Apple CarPlay に対応したスマートフォンを次のいずれかの方法で接続してください。

●Wi-Fi® 接続（→ P. 19）

●USB 接続（→ P. 18）

▶Android デバイス（Android Auto）

Android Auto に対応したスマートフォンを次のいずれかの方法で接続してください。

●Wi-Fi® 接続（→ P. 19）

●USB 接続（→ P. 18）

知識

●Wi-Fi 設定画面で Apple CarPlay 用／ Android Auto 用の Wi-Fi® 接続を ON ／ OFF できます。（→ P. 31）

●iPhone（Apple CarPlay）を USB 接続するときは、Apple 純正のケーブルを使用してください。

●Android デバイス（Android Auto）を USB 接続するときは、USB2.0 以上（規格正規認証品）の USB ケーブルを使用してください。

●Wi-Fi® スポットと Apple CarPlay ／ Android Auto を同時にご使用される場合、Apple CarPlay 用／ Android Auto 用の Wi-Fi® 接続ではなく USB 接続で使用してください。

対応機器について

●Apple CarPlay をサポートする Apple iPhone。
Apple CarPlay をサポートする機種については、
https://www.apple.com/jp/ios/carplay/ または
https://support.apple.com/ja-jp/HT205634 でご確認ください。※

●Android Auto をサポートし、Android Auto アプリがインストールされている Android デバイス。
Android Auto をサポートする機種については、
https://www.android.com/auto/ または
https://support.google.com/androidauto?hl=ja#topic=6348027 でご確認ください。※

※ 本機での動作を保証しているわけではありません。

Apple CarPlay ／ Android Auto の操作

◆ iPhone（Apple CarPlay）用／ Android デバイス（Android Auto）用の Wi-Fi® 接続

→ P. 19

◆ iPhone（Apple CarPlay）／ Android デバイス（Android Auto）USB 接続

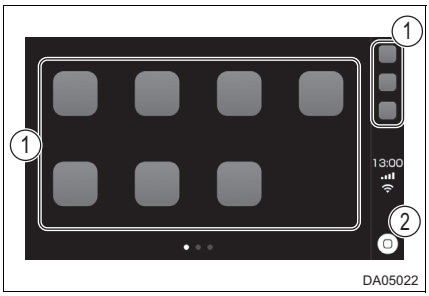
→ P. 18

Apple CarPlay ／ Android Auto を起動する

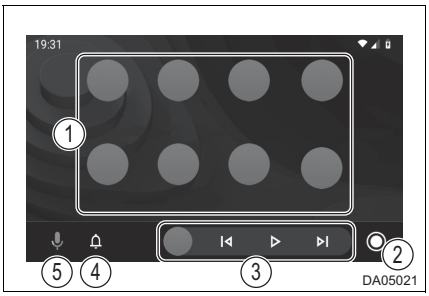
ホーム画面（→ P. 11）→［Apple CarPlay］／［Android Auto］

Apple CarPlay ／ Android Auto は、機器登録／削除画面の ／ を選択しても起動します。（→ P. 19）

▶Apple CarPlay



▶Android Auto



① アプリが起動

② Apple CarPlay ／ Android Auto のホーム画面に切り替え

選択し続けると、モバイル音声認識（→ P. 102）が起動します。（Apple CarPlay のみ）

③ アプリの操作

④ 通知センターが起動

⑤ 音声認識が起動

知識

- Android Auto をお使いになる際は、接続するスマートフォンに Android Auto アプリがインストールされていることを確認してください。
- お車のブランド名称のアプリが表示されたとき、これを選択すると本機の画面に戻ります。
- Bluetooth 接続中の iPhone で、Apple CarPlay を開始すると、Bluetooth 接続は解除されます。
- Bluetooth 接続中の Android デバイスで、Android Auto を開始すると、Bluetooth オーディオは切断されます。
- お使いのスマートフォンによって画面に表示されるアプリは異なります。
- お使いになる前にスマートフォンの取扱説明書をよくお読みください。
- Apple CarPlay は Apple 社によって提供されています。使用するには Apple iOS 利用規約および Apple CarPlay 利用規約に同意していることを条件としています。
- Android Auto は Google 社によって提供されています。使用するには Android OS 利用規約および Android Auto 利用規約に同意していることを条件としています。
- Apple CarPlay ／ Android Auto 使用中は、速度などの車両データがスマートフォンに転送されます。Apple CarPlay ／ Android Auto については、Apple ／ Google プライバシーポリシーを参照ください。
- Apple CarPlay ／ Android Auto ホーム画面に表示されるアイコンやアイコンの表示位置は、接続したスマートフォンや iOS ／ Android OS のバージョンにより異なる場合があります。
  Apple CarPlay について詳しくは、
  https://www.apple.com/jp/ios/carplay/ または
  https://support.apple.com/ja-jp/HT205634 でご確認ください。
  Android Auto について詳しくは、
  https://www.android.com/auto/ または
  https://support.google.com/androidauto?hl=ja#topic=6348027
  でご確認ください。

⚠ 警告

- 安全のため、運転中にスマートフォンの操作をしないでください。

⚠ 注意

- スマートフォンは車室内に放置しないでください。（炎天下など、車室内が高温となる場合があります）
- スマートフォンを本機に近付けて使用しないでください。近付け過ぎると、接続状態が悪化することがあります。

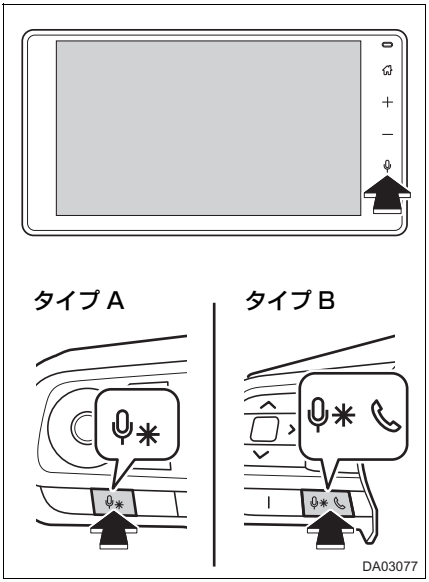
モバイル音声認識の操作

Apple CarPlay ／ Android Auto（→ P. 98）の音声認識機能を起動させることができます。

モバイル音声認識を操作する

トークボタン、トークスイッチ（タイプ A）またはトーク／電話スイッチ（タイプ B）を長押しすると、スマートフォンの音声認識が起動する

- 音が鳴ったあと、モバイル音声認識を利用できます。
- Apple CarPlay ／ Android Auto が接続されていないとき、トークボタン、トークスイッチまたはトーク／電話スイッチを長押しすると機器登録／削除画面が表示されます。（→ P. 19）



●モバイル音声認識の音量調整は、音量調整ボタンで調整可能です。

知識

●ステアリングのトークスイッチまたはトーク／電話スイッチの位置は、お車によって異なります。詳しくは、車両本体の取扱説明書をご覧ください。

●モバイル音声認識は次の状況ではコマンドを認識できない可能性があります。

- 話すスピードが速過ぎる、または遅過ぎる
- 声が小さいまたは大きい
- 窓が開いている（風切り音・外部からの音などによる影響）
- モバイル音声認識使用中に他の人が話している
- エアコンの風量が強めに設定されている
- エアコンの吹き出し口がマイクの方向に向いている
- 悪路を走行している
- 大雨などの悪天候時

知っておいていただきたいこと

◆ こんな症状になったときは

症状	処置
Apple CarPlay ／ Android Auto が起動しない	接続するスマートフォンが Apple CarPlay ／ Android Auto をサポートしているか確認してください。 スマートフォン側で Apple CarPlay ／ Android Auto が有効になっているか確認してください。 接続するスマートフォンに Android Auto アプリがインストールされているか確認してください。 詳しくは、次の URL をご確認ください。 Apple CarPlay： https://www.apple.com/jp/ios/carplay/ または https://support.apple.com/ja-jp/HT205634 Android Auto： https://www.android.com/auto/ または https://support.google.com/androidauto?hl=ja#topic=6348027
	使用している USB ケーブルがスマートフォンと USB 端子にしっかりと接続されているか確認してください。 Apple CarPlay の場合： 使用しているケーブルが Apple 純正であるか確認してください。 Siri が有効になっているか確認してください。 Android Auto の場合： 使用している USB ケーブルが、USB2.0 以上（規格正規認証品）であるか確認してください。 機器登録／削除画面で Apple CarPlay ／ Android Auto が使用用途として選択されているか確認してください。 （→ P. 19）
Apple CarPlay 用／ Android Auto 用の Wi-Fi® が接続できない	スマートフォンが本機に、機器登録／接続されているか確認してください。（→ P. 19）
	スマートフォン側で Wi-Fi® 機能が有効になっているか確認してください。
	本機の Wi-Fi® 設定が ON になっているか確認してください。（→ P. 19、31）

症状	処置
スマートフォンで YouTube を再生したときに、動画が表示されない	Apple CarPlay ／ Android Auto は、YouTube 動画を表示することはできません。
音声が出力されない	本機がミュート（消音）になっているか、音量が小さい可能性があります。 本機側の音量を上げてください。
画面がちらつく、音声にノイズが入る	本機との接続に使用している USB ケーブルが損傷していないか確認してください。 USB ケーブルが内部で損傷しているかは、スマートフォンを PC などの別のシステムに接続し、充電が開始され、接続したシステムで認識されることを確認してください。
Apple CarPlay 地図アプリで地図表示を拡大／縮小できない	Apple CarPlay 地図アプリはピンチイン／ピンチアウト操作することはできません。
Android Auto を使用中、ハンズフリー通話の音声が車両のスピーカーから聞こえない	スマートフォンを USB ケーブルから外し、ハンズフリーを使用した場合に、音声が聞こえるかどうかを確認してください。
	本機側の音量を上げて、ハンズフリー通話の音声が聞こえるかどうかを確認してください。 他のスマートフォンに替えたときに、音声が聞こえるかどうかを確認してください。

ドライブレコーダー 7

7-1. ドライブレコーダー
ドライブレコーダー …… 106
ドライブレコーダー画面を操作する …… 107
ドライブレコーダーの設定 …… 109

ドライブレコーダー※

本機は、販売店装着オプションのドライブレコーダーの接続に対応しており、microSD カードに保存した映像を本機で再生することができます。また、手動で映像を録画することもできます。

本機に接続できるドライブレコーダーについては、ダイハツサービス工場にお問い合わせください。

お使いになる際は、ドライブレコーダー本体の取扱説明書と併せてお読みください。

※対応システム接続時のみ

録画方法について

ドライブレコーダーは、次の方法で録画します。

●常時録画

ドライブレコーダーの電源が ON されると、自動的に録画を開始し、1分ごとに録画ファイルを microSD カードに保存します。microSD カードの容量がなくなると、古い録画ファイル順に自動消去され、繰り返し保存し続けます。

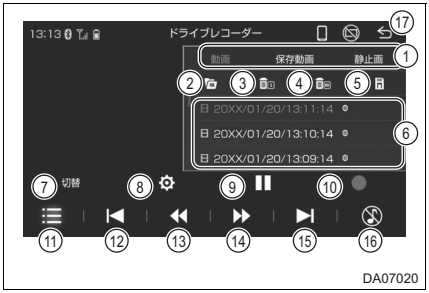
●駐車録画

駐車中（エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞“OFF”中）に車の接触や、いたずらなどで振動を検知すると、自動で録画を開始し、録画ファイルを microSD カードに保存します。

●手動録画（→ P. 108）

ドライブレコーダー画面を操作する

ホーム画面（→ P. 11）→［ドライブレコーダー］



① ファイルリストの切り替え

リストに表示させるファイルの種類を選択できます。

- ［動画］：動画ファイルのリストを表示します。
- ［保存動画］：保存フォルダに記録した動画ファイルのリストを表示します。
- ［静止画］：静止画ファイルのリストを表示します。

② 動画ファイルリストの切り替え

選択するたびに、手動録画した動画ファイルのリストと全動画ファイルのリストが切り替わります。

③ 選択したファイルを削除

［はい］を選択すると、選択したファイルを削除します。

④ 表示しているリストの全ファイルを削除

［はい］を選択すると、表示している全ファイルを削除します。

⑤ 選択したファイルを保存フォルダに保存

［はい］を選択すると、選択したファイルを保存フォルダに保存します。保存フォルダに保存されたファイルは、自動消去されません。

⑥ ファイル

再生したいファイルを選択すると、再生を開始します。

全画面の映像表示中に、画面にタッチすると、操作スイッチが表示されます。

⑦ フロントカメラとリヤカメラの切り替え★

⑧ ドライブレコーダー設定画面を表示（→ P. 109）

⑨ 再生／一時停止

⑩ 手動で録画／静止画を撮影（→ P. 108）

⑪ ファイルリストの表示をOFFする

再度選択すると、ファイルリストを表示します。

⑫ 前のファイルを選ぶ

⑬ 映像を早戻し

選択している間、早戻しします。

⑭ 映像を早送り

選択している間、早送りします。

⑮ 次のファイルを選ぶ

⑯ オーディオを OFF

［♪］を選択すると、オーディオを ON します。

⑰ ホーム画面を表示

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

手動で録画・静止画を撮影する

常時録画中に、録画または静止画を撮影できます。手動で録画・撮影されたファイルは自動消去されません。

▶ドライブレコーダー画面から録画／撮影

ドライブレコーダー画面（→ P. 107）→ ●

▶ドライブレコーダー設定画面から録画／撮影

ドライブレコーダー設定画面（→ P. 109）→［カメラモニター設定］



① 録画を開始

［stop］を選択すると、録画を停止します。

② 静止画を撮影

選択した瞬間の静止画が撮影されます。

③ フロントカメラとリヤカメラの切り替え★

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

ドライブレコーダーの設定

ドライブレコーダー画面（→ P. 107）→ ⚙



DA07022

●音声録音

録画中の音声録音をON／OFFできます。

●急加速・急減速の感知音

急加速／急減速したときのブザー音をON／OFFできます。

●駐車録画

駐車中に、振動を検知したときの自動録画をON／OFFできます。

●駐車録画のお知らせ

エンジンスイッチ<パワースイッチ>を“ACC”または“ON”にしたとき、駐車中に録画されたことのメッセージ表示をON／OFFできます。

●起動音

ドライブレコーダーの電源がONされたときのブザー音をON／OFFできます。

●急加速・急減速の感度

急加速･急減速の測定感度を設定できます。

●駐車録画の感度

駐車中に検知する振動の感度を設定できます。

●画質

録画する画質（［高画質］／［標準］）を設定できます。

選択後、［OK］を選択します。

●駐車録画の時間

駐車録画の録画時間（［10秒］／［30秒］／［1分］）を設定できます。

選択後、［OK］を選択します。

●駐車録画の無効時間

エンジンスイッチ<パワースイッチ>を“OFF”にしたあと、駐車録画が可能になるまでの時間（［1分］／［3分］／［5分］）を設定できます。

設定した時間内は、振動を検知しても録画は開始されません。

●カメラモニター設定（→ P. 108）

●取付調整

急加速／急減速したときのブザーが頻繁に鳴ったり、ブザーが鳴り続ける場合、加速度センサーを最適化します。

［はい］を選択すると、加速度センサーの最適化を開始します。

最適化完了後、［確認］を選択します。

●SDカードの初期化

SDカードを初期化します。

［はい］を選択すると、SDカードの初期化を開始します。

初期化完了後、［確認］を選択します。

●設定初期化

本機の設定を工場出荷状態に戻します。

［はい］を選択すると、設定の初期化を開始します。

初期化完了後、［確認］を選択します。

●ドライブレコーダータイプ

ドライブレコーダータイプ（［前のみ］／［前後］）を設定できます。★

●警告音量

警告音量を調整できます。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

ご参考 8

8-1. 参考情報
使用できるメディア／
データについて …… 112
商標、著作権について …… 119

使用できるメディア／データについて

USB メモリーについて

■ USB メモリーのフォーマットについて

ファイルシステム	FAT32/NTFS
最大フォルダ数	最大 1500
最大ファイル数	最大 15000
最大ディレクトリ階層	8 階層

オーディオファイルについて

USB メモリーで使用できる音楽データの仕様は、次の通りです。

■ MP3

拡張子	.mp3
対応ビットレート（kbps）	上限なし
対応サンプリング周波数（kHz）	●Mpeg1 Layer3：32/44.1/48 ●Mpeg2 Layer3：16/22.05/24 ●Mpeg2.5 Layer3：8/11.025/12
対応チャンネルモード	ステレオ
ID3 タグ	●フォルダ：ver.1.0/1.1/2.2/2.3/2.4 ●アーティスト／曲／アルバム：ver.2.2/2.3/2.4

■ WMA

拡張子	.wma
対応ビットレート（kbps）	上限なし
対応サンプリング周波数（kHz）	32/44.1/48
対応チャンネルモード	ステレオ

■ AAC

拡張子	.m4a
対応ビットレート（kbps）	上限なし
対応サンプリング周波数（kHz）	8/11.025/16/22.05/44.1/48
対応チャンネルモード	ステレオ

■ WAV

拡張子	.wav
シグナルフォーマット	リニア PCM（LPCM）
量子化ビット数（bit）	8/16/24/32
対応サンプリング周波数（kHz）	16/22.05/44.1/48/88.2/96/176.4/192

■ FLAC

拡張子	.flac
量子化ビット数（bit）	8/16/24
対応サンプリング周波数（kHz）	8/11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48/88.2/96/176.4/192

ビデオファイルについて

USB メモリーで使用できるビデオファイルの仕様は、次の通りです。

■ AVI

拡張子	.avi
ビデオコーデック	●MPEG-4 SP ●MPEG-4 ASP ●H.264 ●WMV 9 ●VC-1
オーディオコーデック	●MP3 ●WMA ●LPCM
最大解像度（ピクセル）	1920×1080
最大フレームレート（fps）	30
最大ビットレート（Mbps）	40

■ WMV

拡張子	.wmv
ビデオコーデック	VC-1
オーディオコーデック	WMA
最大解像度（ピクセル）	1920×1080
最大フレームレート（fps）	30
最大ビットレート（Mbps）	20/45

■ MPEG4

拡張子	.mp4
ビデオコーデック	●MPEG-4 SP ●MPEG-4 ASP ●H.264
オーディオコーデック	●MP3 ●LPCM ●AAC-LC
最大解像度（ピクセル）	1920×1080
最大フレームレート（fps）	30
最大ビットレート（Mbps）	40

静止画ファイルについて

USB メモリーで使用できる静止画ファイルの仕様は、次の通りです。

▶オープニング画像

ファイル形式	JPEG	BMP
拡張子	.jpg/.jpeg/.jpe	.bmp
最大ファイルサイズ（kB）	3601	
最大解像度（ピクセル）	1280×720	

▶オーディオ

ファイル形式	PNG	JPEG	BMP
拡張子	.png	.jpg/.jpeg/.jpe	.bmp
最大解像度（ピクセル）	2560×1920		1920×936

iPod について

■ 再生可能な iPod について

本機は次の iPod touch、iPhone を使用することができます。

Made for

●iPhone 14 Pro Max
●iPhone 14 Pro
●iPhone 14 Plus
●iPhone 14
●iPhone SE (3rd generation)
●iPhone 13 Pro Max
●iPhone 13 Pro
●iPhone 13
●iPhone 13 mini
●iPhone 12 Pro Max
●iPhone 12 Pro
●iPhone 12
●iPhone 12 mini
●iPhone SE (2nd generation)
●iPhone 11 Pro Max
●iPhone 11 Pro
●iPhone 11
●iPhone XS Max
●iPhone XS
●iPhone XR
●iPhone X
●iPhone 8 Plus
●iPhone 8

知識

●使用できるモデルに該当していても、機種やソフトウェアバージョン、個体差などにより使用できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
●本機では音声の再生のみに対応しています。

Bluetooth について

使用できる Bluetooth の仕様およびプロファイルは次の通りです。

対応 Bluetooth 仕様	Bluetooth Specification Ver. 2.1 以上 Ver. 4.1+EDR 以上を推奨
対応プロファイル	HFP（Hands Free Profile）要求バージョン： Ver. 1.0 以上（推奨バージョン：Ver. 1.7）
	OPP（Object Push Profile）要求バージョン： Ver. 1.0 以上（推奨バージョン：Ver. 1.2）
	PBAP（Phone Book Access Profile）要求バージョン：Ver. 1.0 以上（推奨バージョン：Ver. 1.2）
	SPP（Serial Port Profile）要求バージョン： Ver. 1.1 以上（推奨バージョン：Ver. 1.2）
	A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）要求バージョン：Ver. 1.0（推奨バージョン：Ver. 1.3）
	AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）要求バージョン：Ver. 1.0（推奨バージョン：Ver. 1.6）

■ プロファイルの説明

●HFP（Hands Free Profile）：ハンズフリーを行うためのプロファイル
●OPP(Object Push Profile)：電話帳データの転送を行うためのプロファイル
●PBAP（Phone Book Access Profile）：電話帳データおよび通話履歴などの同期を行うためのプロファイル
●SPP（Serial Port Profile）：Bluetooth 搭載機器を仮想シリアルポート化するためのプロファイル
●A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）：オーディオを転送するためのプロファイル
●AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile)：オーディオをリモートコントロールするためのプロファイル

知識

●本機は、すべての Bluetooth 端末において動作を保証しているわけではありません。

Apple CarPlay 用／ Android Auto 用の Wi-Fi® について

Wi-Fi® の対応規格は、次の通りです。

通信方式	IEEE 802.11ac VHT80（5GHz）
セキュリティ方式	WPA2/WPA3
周波数チャンネル	36ch
周波数帯域	5.170GHz ～ 5.250GHz

HDMI について

使用できる HDMI 機器の映像および音声信号の規格は次の通りです。

対応映像信号	480p/576p/720p VGA
対応音声信号	LPCM 2ch

商標、著作権について

Bluetooth

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG,Inc. が所有する登録商標であり、パイオニア株式会社は、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商号は、それぞれの所有者に帰属します。

iPod ／ iPhone

Made for iPhone | iPod

- Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple product(s) identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch, Lightning and Siri are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries and regions.
  The trademark “iPhone” is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

Apple CarPlay



- Use of the Apple CarPlay logo means that a vehicle user interface meets Apple performance standards.
  Apple is not responsible for the operation of this vehicle or its compliance with safety and regulatory standards.
  Please note that the use of this product with iPhone or iPod may affect wireless performance.
- Apple CarPlay is a trademark of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

Android Auto

Android Auto

Android Auto ™ is a trademark of Google LLC.

YouTube

YouTube は、Google LLC の商標または登録商標です。

HDMI





HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

Windows Media

This product includes technology owned by Microsoft Corporation and cannot be used or distributed without a license from Microsoft Licensing, Inc.

Wi-Fi®

Wi-Fi® は Wi-Fi Alliance® の登録商標です。

QR コードについて

QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

その他

本機は、ロヴィコーポレーションの米国特許および他の知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

本製品は、トロンフォーラム（www.tron.org）の T-License2.2 に基づき T-Kernel2.0 ソースコードを利用しています。

さくいん

アルファベット順さくいん …… 124
五十音順さくいん …… 125

アルファベット順さくいん

AM ラジオ …… P. 34
Apple CarPlay ／ Android Auto …… P. 98
Apple CarPlay ／ Android Auto の操作 …… P. 100
モバイル音声認識の操作 …… P. 102
ASL …… P. 30
Bluetooth オーディオの操作 …… P. 47
ランダム再生 …… P. 47
リピート再生 …… P. 47
Bluetooth 機器を登録／接続する …… P. 19
Bluetooth 接続を切断する …… P. 19
Bluetooth 対応プロファイル …… P. 117
EQ 選択 …… P. 30
FM ラジオ …… P. 34
HDMI の操作 …… P. 49
iPod の操作 …… P. 45
ランダム再生 …… P. 45
リピート再生 …… P. 45
Loudness …… P. 30
USB ソケット／ HDMI 端子 …… P. 18
USB メモリーの接続 …… P. 18
USB メモリーの操作 …… P. 42
スライドショー …… P. 43
ランダム再生 …… P. 42
リピート再生 …… P. 42
Wi-Fi®
Android Auto 用 Wi-Fi® 接続 …… P. 19, 31
Apple CarPlay 用 Wi-Fi® 接続 …… P. 19, 31

五十音順さくいん

あ

暗証番号 …… 28
案内音量設定 …… 24

お

音場設定 …… 30
音声認識の操作
　音声認識機能…… 62
　音声認識コマンドリスト…24, 65
　モバイル音声認識…… 102
音量調整ボタン …… 8
オーディオ & ビジュアル…… 34
　テレビ…… 36
　ラジオ…… 34
　Bluetooth オーディオ …… 47
　HDMI …… 49
　iPod …… 45
　USB メモリー …… 42
オーディオを OFF する …… 11
オープニング画像 …… 24

か

画面
　明るさを調整する…… 29
　画面の表示設定…… 29
　画面を消す…… 11
　タッチ操作…… 17
　ドラッグ操作…… 17
　フリック操作…… 17
　ホーム画面…… 11

き

機器登録／削除 …… 19

こ

交通情報 …… 12, 35

し

周辺監視…… 70
　バックカメラ …… 70
　パノラマモニター …… 81
使用できるメディア／
　データについて …… 112
　オーディオファイル …… 112
　静止画ファイル …… 115
　ビデオファイル …… 114
　Bluetooth …… 117
　HDMI …… 118
　iPod …… 116
　USB メモリー…… 112
初期化…… 24

す

ステアリングスイッチ
（オーディオ）…… 50
　音量調整スイッチ …… 50
ステアリングスイッチ
（ハンズフリー）…… 53
　音量調整スイッチ …… 53
ステータスアイコン…… 13
　携帯電話の電池残量表示 …… 15
　携帯電話の電波の
　　受信レベル表示 …… 15
　Bluetooth 機器の
　　接続状態表示 …… 14
スマートフォン連携
　Apple CarPlay ／
　　Android Auto …… 98

せ

セキュリティ設定 …… 28
　暗証番号 …… 28
接続する
　ケーブルを使って接続する …… 18
　Bluetooth 機器を接続する … 22
　HDMI を接続する …… 18
　iPod を接続する …… 18
　USB 機器を接続する …… 18
　Wi-Fi® 接続 …… 19, 31
設定
　案内音量設定 …… 24
　音場設定 …… 30
　音声認識設定 …… 24
　オーディオの設定 …… 30
　画面の表示設定 …… 29
　システム設定 …… 24
　初期化 …… 24
　セキュリティ設定 …… 28
　操作音設定 …… 24
　通信設定 …… 31
　時計設定 …… 24
　ドライブレコーダーの設定 … 109
　バックカメラの設定 …… 77
　パノラマモニターの設定 …… 94

そ

操作音設定 …… 24
操作ボタン …… 8

ち

着信を拒否する …… 57

て

デジタルテレビ …… 36
テレビ …… 36
　緊急警報放送（EWS） …… 41
　チャンネルの切り替え …… 36
　テレビの機能を設定する …… 40
　データ放送を操作する …… 39
　番組表 …… 37
　ワンセグの切り替え …… 40
電話帳から発信する …… 55
電話帳を転送する …… 56
電話を受ける …… 57
　着信を拒否する …… 57
電話をかける …… 54
　ダイヤル発信する …… 56
　電話帳から発信する …… 55
　履歴から発信する …… 55
電話を切る …… 56

と

登録する
　Bluetooth 機器を登録する … 20
時計設定 …… 24
ドライブレコーダー …… 106

は

バックカメラ …… 70
パノラマモニター …… 81
　カメラ／パーキングアシスト
　　スイッチ …… 81
　サイドビュー…… 85
　トップビュー & リヤビュー …86
　トップビュー &
　　フロントビュー …… 84
　左サイドビュー &
　　リヤビュー …… 86
　フロントワイドビュー…… 84
　リヤワイドビュー…… 86
番組表 …… 37
ハンズフリー …… 52

ほ

ホーム画面 …… 11

ゆ

ユーザー画像取り込み …… 26

ら

ラジオ …… 34
　周波数の切り替え…… 34
　プリセットスイッチ…… 34

ろ

録画する
（ドライブレコーダー） …… 106

お問い合わせ、ご相談は、ご購入いただいたお店、
最寄りのダイハツ販売会社、または
ダイハツお客様コールセンターまでお願いいたします。

お問い合わせには、あらかじめ次の事項について確認の上、ご連絡願います。

⑴車名および型式、登録番号
⑵ご購入年月日
⑶走行距離
⑷お客様のご住所、お名前、電話番号

●印刷＝2026年8月3日　●発行＝2026年8月17日

260817-1

01999-B1280

ダイハツ工業株式会社

お問い合わせ、ご相談は、ご購入いただいたお店、
お近くのダイハツ販売会社または下記までお願いいたします。

ダイハツお客様コールセンター

フリーコール　0800-500-0182
受付時間　9：00～17：00
〒563-8651　大阪府池田市ダイハツ町1番1号

弊社におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、ダイハツ工業株式会社ホームページにて掲載しております。（https://www.daihatsu.com/jp/privacy.html）

printed with CARBON ZERO ENERGY SUSTAINABLE PRINTING ASSOCIATION OF JAPAN

シートベルトを締めましょう

●車両の仕様等の変更により本書の内容が車両と一致しない場合がありますのでご了承ください。

SPA-230004-J